

会長のページ 生命倫理 - 遺伝子関連 -	河野 雅行	3
日州医談 「医療機関に退蔵されている水銀」の回収について	立元 祐保	4
新春随想(その2)		6
星井英美子, 日高せつ子, 坂田 師通, 中野 俊二, 香月 博 辰元 信, 長沼弘三郎, 武谷 立, 佐藤 信博, 平井 俊範		
エコー・リレー(486)	大橋 剛, 槇 英俊	14
メディアの目 動物を見る目	今井 清満	16
宮崎大学医学部だより(発達泌尿生殖医学講座産婦人科学分野)	川越 靖之	17
ニューメンバー	郡山 晴喜	46
診療メモ 腹腔鏡手術と3D	賀本 敏行	68

あなたできますか?(平成26年度医師国家試験問題より)	15
宮崎県感染症発生動向	18
各都市医師会だより	20
薬事情報センターだより(345) 新薬紹介(その84)	22
各種委員会(医学賞選考委員会)	23
九州各県医師会学校保健担当理事者会	24
平成27年度九州学校検診協議会第2回専門委員会	26
宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会	29
医師国保組合だより	30
ベストセラー	32
日医インターネットニュースから	34
理事会日誌	36
県医の動き	42
追悼のことば	43
会員の異動・変更報告	44
ドクターバンク情報	47
行事予定	53
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	57
宮大医学部学生のページ	70
あ と が き	76

~~~~~

|                         |    |
|-------------------------|----|
| お知らせ 宮崎県医師会メーリングリストのご案内 | 5  |
| 医療事故調査制度 相談窓口           | 23 |
| 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ     | 28 |
| 宮崎県医師会医療情報コーナー          | 46 |
| 宮崎県医療勤務環境改善支援センター       | 52 |
| 日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています  | 55 |
| 医師資格証を持ってますか?           | 72 |
| 郡市医師会への送付文書             | 74 |

## 医師の心得

- 1 . 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
- 2 . 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
- 3 . 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
- 4 . 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
- 5 . 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14年 3月 12日制定)

〔表紙作品 写真〕

### 雪景色

郷里の佐賀は冬になると背振おろしの風が吹き、一面雪原の日も多く雪道を歩いて登校していました。

私は宮崎に嫁いでほぼ50年経ちますが、宮崎の冬空のいつも青々とした快晴には感心させられます。ある寒いクリスマスの朝うっすらと積もった雪景色に驚いて庭に出ますと、紅い山茶花が雪を被っておりその可憐さに思わずシャッターを切りました。宮崎ではめずらしい雪の朝でした。

宮崎市 藤木 美津子

## 会長のページ

## 生命倫理 — 遺伝子関連 —

かわのまさゆき  
河野雅行

日医「生命倫理懇談会」に参加する機会を得た。今回のテーマは、遺伝子検査・診断とその周辺問題である。研究者の講演を聴くと、遺伝子研究は科学の最先端を行っている。驚かされたことに、多くの疾病診断が可能となり、新治療法や疾病予測、個人の特定、芸術やスポーツ等の特殊能力の推定も期待できる。しかし、それに伴う様々なマイナス面も問われはじめている。遺伝子検査により個人のみならず、血縁者情報の多くが露わになるし、その説明とフォローやデータの管理等のあり方が不十分であると言われている。疾病診断に止まらず、予防まで可能となれば朗報かもしれない。

しかし、自分の余命すらも予測可能となれば、いかがなものか。人間が踏み込んではいけな領域もあるのではないか。過日、がんの確率が高いとされた女優が予防的に乳房切断・子宮摘出を受けたとのニュースが世界中を駆け巡り、様々な論評があったことは記憶に新しい。急速に進歩する科学に対して我々医療人は、どこまで対応できるのか？ 時代と共に健康に対する認識は、様々な要素が加わり変化してきている。しかし、生命の基本的理念は変わるべきではない。一般国民の意識がそのレベルまで到達していない現段階では、我々医療人がリードしていく必要がある。そのためにも、もう一度生命に対して医学、法律および哲学、宗教まで包含した検討を行い、根本的理念を作り上げておかなければならない。

現代は情報が氾濫しており、簡単に取得できる。有利な情報取得の自由はあっても、先述したごとく他まで関連した情報には注意を要する。特に遺伝的情報は血縁者全員に影響を及ぼす可能性もある。出生時から自分の生涯予測ができるとなればこれは幸なのか不幸なのか。皆様はいかが思われますか？ 「知る権利」のみならず、「知らない権利、知られたくない権利」を守ることも重要である。医療関連の遺伝子検査・治療はガイドラインも作成され、限定された疾病が有資格者・施設によってのみ実施され、説明やフォローが義務付けられたルールがある。一方、商業関連では、DTC(Direct to Consumer)等がインターネット等で広く普及しており、自分で皮膚・粘膜・毛髪等を送ることで簡単に検査し直接通知される。しかし、軽い気持ちでも、一般国民としては、得られた結果の解釈・取扱いに困り、重大な影響を及ぼしかねない。この様な商業ケースの場合、個人情報保護の関連もあり、医療側としては関与できるシステムがないのが現状である。国も対策を講じているようだが、医療関連は厚労省、商業関連は経産省と管轄が違い、取組みも異なっている。しかも、業者は国内とは限らない。

我が国の遺伝子を巡る現状は、特に商業関連の検査等に対策充分とは言えないし、先進国に比べて国民の意識も充分熟成されているとは言えない。今後は官・学・産での明確な方針決定が重要で、更には法的な規制も必要であろう。

(平成28年1月20日)

## 日州医談

「医療機関に退蔵されている水銀」  
の回収について

常任理事 立元 祐保

## 初めに

近年、電子血圧計や電子体温計の普及により、水銀を使用した血圧計や体温計の使用は減少している。使われなくなった水銀血圧計や水銀体温計は廃棄することができず医療機関に退蔵されたままになっており、これらの退蔵水銀をどう処理するかは大きな問題である。医療機関で使用された水銀血圧計等は産業廃棄物であり、開設者には廃棄物処理法において排出事業者責任が課せられる。排出事業者はその廃棄物を自らの責任において処理しなければならず、これを業者に委託する場合にはその運搬から最終処分まで適正に行われていることを確認する責任がある。これを各医療機関が個別に行うと、相当な費用を要する。2020年に水銀に関する水俣条約(以下、水俣条約)が発効すると、その後は原則水銀製品の製造や販売・輸出入ができなくなる。そのために、処理費用は今後ますます高くなると思われる。

## 水俣条約とは

水銀は多くの排出源から様々な形態で環境に排出され、分解されずに全世界を循環している。また、人への毒性が強く特に胎児、新生児、小児の神経系に有害であり、食物連鎖により野生生物へも影響を与える。自然排出源もあるが人為的排出が大気中の水銀濃度の上昇や堆積速度を速めている。このような水銀の特性により、人為的な排出の削減・根絶を行う必要があるとの観点から2013年に熊本県で開催された外交会

議で水俣条約は採択された。水俣病のような被害を2度と起こしてはならないとの願いから、水俣条約と呼ばれている。その内容の主なものは、①水銀の輸出は、条約上認められた用途または一時保管に限る。②水銀を使用する特定の製品(注1)の製造・輸出入の禁止である。

## 東京都医師会の取組み

東京都医師会は、平成23年ごろから水銀血圧計等の処理の取組みを始めたが、これは「水俣条約」に対する取組みとして始まったわけではない。平成22年ごろから東京都のごみ焼却場の機械が緊急停止する事例が5年間で16回発生した。これは排ガス中の水銀濃度が自己規制値を超えたために自動停止したものである。この自己規制値は $0.05\text{mg}/1\text{m}^3$ で、蛍光灯なら22,000本、水銀体温計なら200本、水銀血圧計なら4本分に相当する。この緊急停止に対し触媒の交換などで2億円程度の経費がかかり、修理のためにしばらくごみの処理ができないという弊害が起こった。誰が大量の水銀を廃棄したかは分からないが、当然のごとく医療界全体に厳しい目が向けられた。

このような経緯から、東京都医師会は活動を開始した。まずは、退蔵血圧計等の実数把握のために約1万か所の診療所に対しアンケート調査を行い、4,200の回答があった。その結果、水銀血圧計は平均3.4本(利用率は79%)、水銀体温計10.4本(16.3%)あった。これは血圧計を約7,100個、体温計を約86,000本退蔵している

計算になる。これらを安全に処理できるのは、日本で唯一北海道にあるN興産に頼むしかない(東京都医師会の説明)。そのための経費は産業廃棄物処理のルールにのっとり個別に運ぶと血圧計1個3万円程度(注2)のコストがかかることが判明。これを、多数を各都市医師会に集め、一度に運搬することで血圧計1個2千円(体温計は千円)に低減できたとのことである。

#### 廃棄方法について

いくつかの廃棄方法があるようである。前出のN興産は、使用済みの水銀を日本で唯一精製し再利用しており、純度を99.99%以上まで上げる技術があるとのこと。また、精製の際出る蒸気からは水銀を完全に除去しており、安全に再利用しているそうである。このように再利用する方法と、セメント等の容器に詰めて埋設する方法もある。埋設する業者は複数あるようだが、今のところまだ環境省もその数や安全性を完全に把握していない様子である。

#### 県医師会の取組み

県内でも多くの水銀が退蔵されていることが予想され、すでに廃棄された医療機関にも退蔵されているものと思われる。2020年以降は退蔵水銀の処理はますますむずかしくなり、費用は

高騰することが考えられる。本会でも退蔵水銀の処理に取り組む予定であるが、なるべく多くの水銀を短期集中的に取り扱うことが費用の軽減化につながる。

これからの問題として、県や宮崎市(政令市)に国からまだ十分な説明が来ていない状態であり、行政の対応がいまだ不十分である。また、都市医師会との調整も必要である。処分業者や運搬業者の選定も必要であるが、これも県の対応を待たねばならない。今後は行政との話し合いを続ける一方、九州各県医師会とも歩調を合わせつつ取り組む予定である。

まずは、退蔵水銀の量を確認する必要があり、そのために医療機関に対しアンケート調査を行う予定である。その際は会員各位のご協力をお願いしたい。

(注1)特定の製品とは、蛍光灯、水銀ランプ、化粧品、農薬、消毒薬、計測機器(体温計・血圧計…)等多くの品目が含まれる。

(注2)産業廃棄物処理事業振興財団は、水銀血圧計の処理費用を1本あたり42,000～50,000円程度と試算している。

## 宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「会員交流用メーリングリスト」の2本立てでのメーリングリストの運用をしています。

#### ◆MMA通信

目的：県医師会から会員への情報提供(各種通知文書、研修会の案内等)

対象：会員本人、医療機関代表のアドレスなど

#### ◆会員交流用メーリングリスト

目的：会員同士の意見交換、会員からの情報提供

対象：会員本人のみ

災害が発生した場合、情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合わせ先：宮崎県医師会 地域医療課  
TEL 0985-22-5118

# 新春随想

(その2)

新春の随想を募集いたしましたところ、多数のご投稿をいただきありがとうございます。1, 2月号にわけて掲載させていただきます。

## 宮崎エスペラント会

宮崎市 星井眼科医院 <sup>ほし い ふうみこ</sup> 星 井 芙美子

エスペラントは眼科医ザメンホフ創始の人工世界語です。言語学者の家に生れた彼は、言葉に強い関心があり、生地ロシア領ポルトガルの小さな町で、種々の民族、言語が混在して争いが絶えないことに心を痛め、医学生時代から、誰でも平等に容易に使える言語の研究を始め、1887年29歳の時、エスペラント(希望する人)の筆名で、その集大成を公表しました。習得の容易な共通語で理解し合え、中立を貫く事で世界の平和に貢献する一方、夫々の国の言葉や伝統は尊重するという思想に支持者が集まり、今も世界中にエスペランチストが存在します。

日本でも大正時代から高名なエスペランチストがいました。戦時中はスパイ視され迫害されました。戦後、抑圧されていた外国との交流を求めて盛んになりました。宮崎でも、杉田眼科先代正臣先生が会長となり宮崎エスペラント会が発展しました。当時高校や大学生で始めた人達が今まで会を支えて来られました。

私はその思想に感じて入会20年余、少ない語幹に接頭辞や接尾辞をつける等、造語の妙にはまって読むのが好きですが、言葉で見知らぬどの国の人も仲良くなれるのは素晴らしいことです。しかし今や、英語が公用語のようになり、

若い人の楽しみが多岐にわたるようになって、エスペラントを学ぼうという人は中々いません。

ザメンホフの誕生日12月15日頃各地でザメンホフ祭を催します。宮崎では昨年5月九州大会で瑛九さん、鳥原さんを取り上げたことで宮日紙と連携し、ザメンホフ祭のことも記事にして12月31日掲載されました。

私自身は今年秋、半世紀以上過ぎた宮崎から出身地奈良に移住の予定ですが、高齢化、先細りが心配な愛する宮崎エスペラント会に今年は新会員が加わるか一寸でもお手伝いできればと思っております。



## 還暦バンド

宮崎市 ひだか胃腸科医院 <sup>ひだか せつこ</sup> 日 高 せつ子

「還暦同窓会の余興でバンドを組むから、ボーカルをやってくれない?」と中学の同級生から電話をもらった。固辞したが一度遊びに来てと誘われて行ってしまった。電話の彼はアルトサクソフ、他にドラム、ベース、ピアノがいる。聞

けば品の良いジャズバンドを目指していると言う。私はカラオケが好きだが福山雅治しか歌わない。無理だと断わったが押し切れ加わることになってしまった。練習が始まってみると、技量も経験もない私は皆について行けずに練習を止めてしまう。リーダーのドラムにいつも怒られる。スティックが飛んで来そうで思わず目をつぶる。

ところが、練習後の食事の時間になると皆が互いに優しくなる。15歳の時に、45年後にこの顔ぶれでこんな事をしているなんて誰が想像できただろうか？何だか愛しささえ感じてしまう。リーダーを見ると、飢えと乾きが満たされて笑顔が可愛かった。

さて本番は、あっという間に終わってしまった。還暦バンドは大成功であった。私には忘れられない場面がある。本番の会場へ皆で向かう車中のことだ。緊張感と高揚感と一体感に溢れていた。昔観たアメリカの青春映画のようで、私たちは若かった。

あれから数か月、バンドは健在だ。つまり誰もバンド継続に異議を唱えなかったというわけだ。早生まれの私はようやく皆に追いついて還暦を迎えられる。全てのことに感謝したい。最後に、バンド名はGetting old and Betterという。略してGOB。その名の通りで私たちは成長し続けている。そしてバンドが楽しいから集まる。これ以上のことがあるだろうか？GOBは楽しいが1番の還暦バンドなのだ。

## 二つ返事と帰り来ぬ風

高鍋町 坂田病院 坂田 師通

他の病医院から、入院転院の依頼を受けた時、私は必ず二つ返事で応諾することになっている。私が以前働いていた東京都立駒込病院の上司であった猪熊茂子先生が、そうされていたからである。猪熊先生は、「相手の先生が電話を下された時点で、きっと大変困っておられるのだから、とにかく受けて差し上げることが医者のおつとめだと思う」とおっしゃっていた。当時の駒込病院のアレルギー・膠原病科はベッドが17床しか割り当てられていなかったため、他院からの要請をすべて受け入れていると、常に他の科にベッドを借りていなければならず、結構色々な意味で苦勞したけれど、今では楽しい思い出になっている。

だが、宮崎に戻って来てから、急患の転送を他院にお願いすると、年に1～2回極めて理不尽な理由で断られることがある。診療情報提供書をすぐに送ってくれと言われたので、急いでFAXすると、理由にならない理由で断られたこともあった。私は腹が立つと物を壊す癖があるので、何本ボールペンを折ったか数えきれない。しかし、ある時詩篇の78章39節の「又かれがただ肉にして過去ばふたたび帰りこぬ風なるをおもひいで給へり」を見つけた。それで最近、インキキ輩の先生に出会った時、受話器を通して感謝に挨拶をして、心の中で「どうせ、お前なんか、帰り来ぬ風なんだよ」と呟いて、新しい病院を捜すことにしている。おかげで、折れるボールペンの数は減った。

私はこれからも、他院からの依頼については、

二つ返事で応じようと思う。一方、親しい友人から時々「飲み」に誘われることもあるが、その時も二つ返事で応じている。特に、きれいなお姉さんやパニーガールのいる店なら、絶対に二つ返事である。

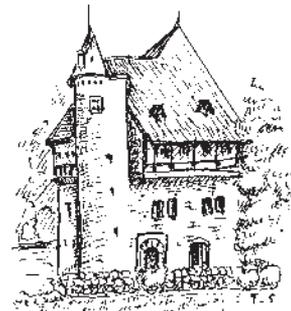
## 皮膚レーザー治療の発展に 向き合い23年

宮崎市 中野医院 <sup>なかのしゅんじ</sup> 中野俊二

中野医院に赤アザ治療用のダイレーザーを導入したのが平成4年。23年を経て、導入したレーザーや高周波治療器、光治療器などなど35台以上になります。その中には耐用年数まで使用できた優秀な機器もあれば、購入したものの使えないジャンク機もあります。驚くべきことに、未だに、効果ありきの発売で、作用機序が不透明ながら、高周波(RF)が市場で人気です。皮膚に照射すると皮下脂肪が見る間に減少していくのですが、世界的には「皮膚の真皮が縮む」ということになっているのが不思議です。真皮が縮むのは施術後3～6か月です。なぜ治療中に縮小する話と混同するかと思っているのは私だけではないと思います。固定観念的理論に反駁する論文も散見しますが、推論の域を出ません。ところが4年前にこの理論を解き明かすにはもってこいの部分痩身用RF機が登場しました。早速、

購入して臨床研究を始め、現在、結果をまとめて世界デビューに向け執筆中です。ようやく、なぜ、縮むか分かりました。この4月にボストンで開催される米国レーザー外科学会(ASLMS)で発表してきます。

レーザーはというと、一昨年、1兆分の1秒単位のピコ秒レーザーに出会いました。これまで一番短い皮膚疾患用レーザーのパルス幅はナノ秒単位、つまり、10億分の1秒という単位でしたので革新的なレーザーです。2014年12月に香港で開催された五大陸会議で効果を知り、香港大学のヘンリーチャン教授との会食で背中を押され、早速、日本初、第一号機を2015年4月に米国から導入しました。紙面の関係上、詳細は省きますが、良性色素性疾患や刺青治療の歴史を書き変えそうです。正に、予想をはるかに凌駕した結果です。昨年は嬉しくて楽しくて、あっという間に終わっちゃいました。生まれて初めて、赤アザ治療用レーザーに巡りあったとき以上の興奮を覚えた2015年。眼科ではすでにフェムト秒レーザーが使用されています。今年はどんなレーザーに向き合えるのか…。とりあえず、楽しみです。



## 大淀川のほとりで

宮崎市 迫田病院 香 月 博

平成27年4月より迫田病院に非常勤麻酔科医としてお世話になっております。ご承知のように大淀川沿いの瀟洒な構えの病院です。川や湖などの水が見える建物は風水的に良いと聞いた事が有ります。そのおかげでしょうか、三年間苦しんだ五十肩が自然に治りました。実際は仕事量が減ったことや職場環境のおかげかもしれませんが、当直あけの早朝に病棟から眺める大淀の、朝日にきらめく川面はキラキラと何とも言えず美しく、見るたびに本当にいやされます。鹿児島育ちのため大淀川に対してはさして感慨も無かったのですが、こうして見るとふるさと宮崎の大切な川であることを実感します。麻酔の研修医から30数年、うまくいったことや良かった事などは意識して記憶の糸をたどらなければ見つからず、失敗やつらいことは無意識に一瞬でflash backしてきます。加齢や酒による忘却が苦痛を緩和してくれますが、医師免許を持つ医者の方くれである以上ただ逃避し忘却すればいい訳でもないと考えています。残された数年、麻酔の研鑽を続けると同時に三流麻酔医人生の総括をせねばならないと考えています。末尾になりましたが、宮崎大学麻酔科恒吉教授ならびに麻酔科スタッフの皆様をはじめ、都城病院、古賀総合病院、宮崎善仁会病院、医師会病院等々この十数年私の勝手な振る舞いでご迷惑をおかけしてきた病院と先生方に、この場を借りて心よりお詫び申し上げますと同時に御礼申し上げます。医師会員の皆様に、本年がよい年となりますよう祈っております。

## 猿でも出来る？

宮崎市 辰元病院 辰 元 信

皆様、新年あけましておめでとうございます。今年が申年、年男でございます。さて猿といえば

- ・猿でも出来る・猿も木から落ちる・猿は人間に毛が三筋(三本)足らぬ
  - ・猿に烏帽子・敵もさるものひっかくもの
- などなどいろいろ猿について言われていることがありますね。

世間一般的な猿のイメージはとても器用で頭の良い動物とされています。しかしながらその一方では人間様より劣っている、猿真似、などそんな風にちょっぴり見下したイメージも多いようです。犬や猫のような愛玩動物よりもヒトガタに近いカタチを持っているため猿に対して一種の同族嫌悪のような気持ちが働くのかもしれない。

猿でも出来る、という一種の叱責、蔑視のような言葉もありますね。

私達、医療の中でも簡単に出来るという処置や検査をミスしてしまう事があります。誤薬や取り違えなどインシデント、アクシデントもよく報告されていますね。昨年10月から医療事故調査制度も施行されましたから皆様もますます気をつかわれていることと思います。アクシデントの原因やきっかけとして日常的なイライラ、急いだり、人手不足、システム上の問題、思い込みなどがありそうです。

急患の患者さんの、薬や持病の内容など基本的データが不明、家族と連絡がつかない、電子カルテやPCなどのOA機器の不具合、レントゲ

ンや検査機器や器具の不備などなど、やっぱりイライラがいっぱい。

近年ユマニチュードという、おフランスの認知症ケアが取り上げられたことがありました。

その内容はかいつまんで言うと

- 1) 認知症の人の正面から目の高さを同じにしてまっすぐ長い時間見つめる。
- 2) 優しく、前向きな言葉を使って、繰り返し話しかける。体に触れる場合も、触る部分を先に言葉で伝えて安心感を与える。
- 3) 認知症の人の体に触れて、スキンシップをはかる。
- 5) 認知症の人が寝たきりにならないよう、自力で立つことを大切にす。

最初にこれを聞いた時には、日本でも介護の世界で以前から言われてたことと同じじゃないの？日本の高齢化率はフランスとは比べものにならないので、こんな風に一人一人に手厚く、時間をかけてやるなんて現実的じゃないよ、なんてどちらかといえば否定的に思ったものです。でもやはりこれを徹底するということが大事なのかな、と最近思い始めました。

今年は出来る範囲内ですが余裕を持って確実に整理して物事に取り組むことでミスを少しでも防ぎたいと思います。猿でもできると慢心せずじっくりとりくみ、一方ではおさるさんのように器用にかしこく立ちまわりたいと新年を迎えるにあたって感じています。

ま、反省だけなら猿でも出来るという言葉もありましたが…。

## 海道東征

延岡市 長沼医院 長 沼 弘三郎 なが ぬま こうざぶろう

ある夕刻、人気のない愛宕(笠沙)山の展望台から両手を重ね合わせた立像(ニニギノミコトとコノハナサクヤビメ)越しに、夕映えの凧た東の海原に数隻の漁舟いさりぶねを見る。ここは笠沙みさきの御前で、あれは神武東征の船団か。

胸に湧いた風のどんな吹きまわしか、“御船出の地”美々津に向う。神さびた立磐神社と、もやがかった耳川河口みなつぼえと七ツ罫の岩礁に月光が映えている。灯りに照らされた家々の門標は船型(東征の軍船 おきよ丸)でここから事は始まったのだ。

梅原猛著：「古事記」と「天皇家の“ふるさと”日向を行く」を読む。

美々津、宇沙、築紫、安芸、吉備、浪速を経て熊野から橿原宮での即位までの16年に及ぶ乾けん坤こん一擲いつてきの長征。渡来した弥生人(天孫族)は行く先々で稲作と養蚕を広げ、鉄器を携えて土着の縄文人を押し切り、まぐわい、睦みあって融合を重ね一つの国を作った。王朝の基は神楽、男狭穂塚、女狭穂塚の古墳から察するに高千穂、西郡原(斎殿原)に行き着くか。ちなみに縄文人は鼻高く、目が大きく、顔の彫が深く、弥生人は鼻が低く、目が小さく、顔の凹凸が少なく、まさに天狗は縄文人、オカメは弥生人、と書いてある。そうか神楽面には歴史が刻まれていたのだ。

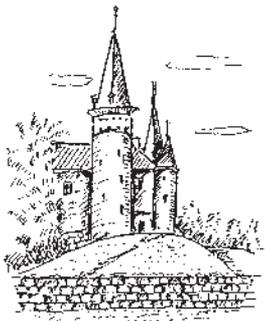
時を合わせたように、信時潔作曲、北原白秋作詞の交声曲(カンタータ)「海道東征」を大阪ザ・シンフォニーホールで聴いた。昭和15年皇記2600年奉祝曲として作られたが、私の生まれる3年

前のことでももちろんこれまで聴いたことはない。  
代表作“海ゆかば”とともに戦争の記憶と強く  
結びつき戦後演奏されることはなかった。“古事  
記”をもとに高千穂、大和思慕、御船出、御船  
謡、速吸と菟狭、海道回顧、白肩の津上陸、  
天業恢弘の全8章で“国生み”から“神武東征”  
まで収められている。

万葉調の歌謡の独唱，合唱とあいまって，雅  
楽の旋律がオーケストラで奏でられ荘厳という  
ほかない。ソリストがソプラノの幸田浩子でコ  
ノハナサクヤビメもかくやだったかと思ふ。一  
大和は国のまほろば，八紘一つ宇とぞ(あめのし  
たひとつのいへとぞ)ー

信時の没後50周年の節目の年に生誕の地大阪  
で全曲演奏の運びになったが，この曲が神話の  
舞台宮崎で演奏されることは…？また，機会が  
あれば姿勢を正して「海ゆかば」と「海道東征」を  
あの悠然と迫る演奏で聴いてみたい。

帰りに天岩戸神社を拝礼したが，夕暮れ時で  
岩戸川の川面を伝って風が吹き，サラサラと天  
岩屋にもみじ葉を吹き込んでいた。時を忘れ，“ロ  
マン”に満ちた「古事記」の世界に再びいざなわ  
れた。



## 沿道の芝生

宮崎市 宮崎大学医学部 機能制御学講座 薬理学分野  
たけや 立

昨年春に宮崎に来て以来，二回目の新年を年  
男として迎えた。宮崎に移り住んで，最も宮崎  
らしさを感じるのは，花木の美しさである。南  
国を象徴するワシントンパームや溢れんばか  
りに咲き誇る花々も確かに見事であるが，個人  
的にもっとも気になるのは，沿道の植栽，とく  
に芝生の美しさである。宮崎に移り住む前に，  
日本海側の町で猫の額ほどの庭の芝生の手入れ  
を趣味としていた自分にとって，隣家の庭の芝  
生が綺麗ならまだしも，沿道の芝生があまりに  
も美しいことにはむしろ納得がいかなかった。  
確かに，11月末まで暖地芝が青々としているよ  
うな恵まれた気象条件のせいで生育がよいのは  
理解できる。しかしながら，誰のものでもない  
公共の沿道の芝生なのに，きっちりと刈り込ま  
れ，手間のかかる根切りや除草も見事に施され  
て，手入れがあまりにも行き届いているのだ。  
気になりだすと，他の都市に行っても沿道の芝  
生を観察するようになったが，その美しさは宮  
崎が日本一である。

この随想を記すのを機にその理由を調べてみ  
ると，どうやら，昭和44年(筆者が生まれた翌年)  
に制定された条例「宮崎県沿道修景美化条例」に  
発端があることが分かってきた。本条例は，公  
園だけでなく，沿道をも対象として「郷土の美化」  
を推進することを目的にした，全国で初めての  
条例であり，沿道の美しさが県民全体の力によ  
って維持された美しさであることが分かった。全  
国に先駆けて，自然の風景を積極的に活用して

社会資本に変換したことは、全国に対して誇れることと切に感じる。

今年からは高くなりすぎたワシントンニアパームが剪定困難なために植え替えが検討されているようであるが、是非とも、宮崎の宝物、それは南国を象徴するワシントンニアパームだけでなく、宮崎の気候や自然を積極的に活用しようとした先人たちの先駆性、さらには美しい花木を愛する人々の心を忘れることなく後世へと受け継いで欲しい。

## 「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ in のべおか」を終えて

延岡市 あたご整形外科 佐藤 信博

平成27年11月21日から23日の3日間、延岡市はいまだかつてない賑わいを見せた。人口13万人の延岡市で、県内外からの1万7千人もの人が来場した「エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ in のべおか」が山本益博大会委員長、林真理子大会副委員長のもと開催されたからだ。

エンジン01文化戦略会議は、異分野の専門家が自由な意思を以って集まり、相互に学び合い、新時代の文化を創造していくことを目的とし、この目的を果たすための活動を行う上で、公正と無私の心が基本理念とされている。2001年に故アサヒビール樋口廣太郎会長が、経済戦略会議と並ぶような、文化を高めるためのイベント

を開こうと文化人たちに呼びかけたのが始まりである。現在、250名ほどの文化・芸術・スポーツなど、各分野の第一線で活躍している文化人が会員となっておられる。オープンカレッジは毎年1回、異なった地方都市で、地域の活性化を目的で開催され、今回が14回目である。県庁所在地以外での開催は初めてのことである。

国内の第一線で活躍する文化人が集うこのイベントに、今回は約120名の講師陣が来延し、「たべる のべる のべおか」をテーマに、90もの多彩な講座が展開された。この中には中学生、高校生が将来つきたい仕事を選ぶための参考となるようにと、講師達が自分の職業や夢について子供達に語る『ハローワーク』と言われる講座と、一般の聴衆向けの講座(3~4人の講師が本音で激論を戦わせる)があった。また、夜は『夜楽』と言うイベントが市内23箇所のレストランで開催され、数名の講師達と市民が膝と膝を合わせて、飲み食いしながら歓談した。

今回の講師の中には、医師が3人いらした。精神科医で作家でもある和田秀樹氏、国際医療福祉大学塩谷病院院長で脊髄外科医の福井康之氏、虎の門病院脳神経血管内治療科部長で脳神経外科医の松丸裕司氏の3人である。これらの医師が関係した医療関連の講座が7つもあり、それに1つのハローワーク講座が加わった。

会場となった延岡総合文化センター、九州保健福祉大学、市内のレストランではまさに「知の祭典」が繰り広げられ、子どもから高齢者まで知的好奇心を余すことなく満たしてくれた3日間であった。実は私も4年前から『エンジン01オープンカレッジ』の魅力にとりつかれ、追っかけの一人になっている。このイベントを通じ私たち延岡の住民が延岡の素晴らしさを再発見し、さ

らにこの地に住むことへの自信と誇りを持たたのではないかと思う。

今回は市役所職員、民間団体やボランティアなどが市民総戦力で、このイベントをサポートした。昔から延岡は「お接待の町」と言われているだけあり、郷土愛の下、きめ細やかな心配りで今大会を大成功へと導いたのだと思う。作家の林真理子さんが文藝春秋12月10日号に『オープンカレッジinのべおか』について書いておられるが、延岡を絶賛されている記事からも延岡市民の知性と民度の高さを伺い知ることができる。

来年からはエンジン02・03と規模は小さいながらも、継続して文化向上のため本会議が行われることになろう。昨年は東九州自動車道が全線開通した記念すべき年であったが、延岡がただの通過地点となるのではなく、発信基地となりうる多くの要素を発見するきっかけとなったと言う意味で、この大会が果たした役割の大きさは計り知れない。延岡が益々面白くなりそうな予感がする…。



## 医学の近未来

宮崎市 宮崎大学医学部  
病態解析医学講座  
放射線医学分野  
ひら い とし のり  
平 井 俊 範

コンピュータの技術革新がすさまじい勢いで進む中で、車の自動運転や「ワトソン」<sup>註</sup>などの人工知能(artificial intelligence, AI)が脚光を浴びている。ある試算によると今後10~20年程度で、米国の総雇用者の約47%の仕事が自動化されるリスクが高いという結論に至っている。タクシー運転手、レジ係やレストランの案内係はみられなくなる日も遠くはないようである。また、人工知能は2045年には人間の知能を超えるという研究結果もみられ、少し恐ろしい気がする。

昨今、欧米の画像診断領域では実際コンピュータ支援診断(computer-aided diagnosis, CAD)が応用されつつある。例えば、乳癌のマンモグラフィによる診断で癌と思われる部位をコンピュータに検出させ、読影医の手助けを行うものである。それ以外に、肺癌のCT診断、脳動脈瘤のMR血管撮影による検出など多くの疾患に応用が試みられている。

また、人間の手が届きにくい部分の外科手術ができる「ダ・ヴィンチ」というロボットは、外科医が遠隔操作して世界中で手術が行なわれているが、ここに「ワトソン」などの人工知能が入り込めば、この分野はどこまで発展するか予想がつかない。

しかし、いくら人工知能が発達しても医学の基本は、患者さんをよく診て信頼関係を作るところから始まり、信頼関係の上で治療が行える。さすがの人工知能も人の細かな感情まで理解することは2045年にもできないであろう。

註) IBM が開発した質問応答システム

# エコー・リレー

(486回)

(南から北へ北から南へ)

## 絵画コレクション

都城市 大橋クリニック おおはし 橋 つよし 剛



開業して、ライフスタイルが大きく変わったことが二つある。

一つは、大型犬3匹との生活であり、今回はもう一つのことに関して述べる。

最初のきっかけは、クリニックに絵を飾ることから始まった。季節ごとに替えるために、主に花(薔薇、コスモス、桜、ひまわりなど)の洋画を集めた。同時に、季節感のある風景画(山、高原、海、湖、河川、ヨーロッパの街角)も集めた。原則、日本人の現存する画家の作品を買うことにした。私を買うことにより、画家が少しでも励みになって欲しい気持ちがあるためである。以前は出張する毎に、画廊や百貨店で買い求めたが、売れる画家の作品ばかりであり、取り扱う画家も限定されているのに気が付き、美術年鑑や美術市場などの本を参考にして、直接、画家に依頼したり、ネットで買ったりすることが、最近では多い。また、シルクスクリーン、リトグラフを買うことも多くなっている。最近まで、人物画には、ほとんど、手を出していなかった。万人受けせず、好みが分かれるので、飾れないと判断していたからである。それでも、九州出身の著名な画家(織田広喜、工藤和男、日高康志など)は、細々と集めていた。昨年11月、福岡に出張した折、干支の置物を求めて、三越に行った。偶然に、長崎出身の新鋭画家である柏本龍太の作品に出会い、ひとめぼれした。女性を描いているが、清潔感があり、日常の一瞬を表現している。はまりそうである。非現実的な願望(家内に笑われる)であるが、元気なうちに引退し、森に別荘を建て、多頭のアイリッシュウルフハウンドを外で放し飼いし、絵画に囲まれ、時の経過を気にせず暮らす夢がある。

[次回は、宮崎市の北村 儀雄先生にお願いします]

## ゲームと私

宮崎市 古賀総合病院 まき 積 ひでとし 英 俊



私は小さい頃からゲームが好きで、今もアプリのゲームを時々やっている。

幼稚園生の頃はゲームウォッチ、小学生はファミコン、中学生になるとゲームセンターに入り浸っていた。

この中でも、家庭用ゲームでドラゴンクエストやファイナルファンタジーなどが好きで、大学生の時は、授業をサボってゲームをするほどだった。

ただ、オンラインゲームは、何か怖いしオタクな感じがして手を出せずにいた。精神科医師4年目に県北の精神科病院で仕事をした時に、G先生から「ファイナルファンタジーXIが面白いよ」と紹介された。やり始めると、オタクと敬遠していたのが嘘のようにハマってゆき、寝る間も惜しんでゲームをするようになった。知らない人達とゲームをして会話することがとても新鮮で楽しかった。会話の相手も年齢も性別も分からない日本人や片言英語で話をする外国人で、そのうちゲームよりも、会話が楽しくなった。例えば、「うちの会社、先月から給料が振り込まれなくて大丈夫なのかな?」や「(朝の)4時から仕事なので落ちます(落ちますとはゲームの電源を切ること)」や「コンビニ経営しているんだけど、バイトの学生が問題をおこすんだよね…」などと普段の生活では聴くことが出来ない内容でびっくりすることばかりだった。

現在、ゲームの時間は子守の時間になっており、なかなか長時間ゲームをすることは出来なくなっている。ただ、ファイナルファンタジーXIにはまっていた時間は私のとても貴重な思い出と経験になっている。

[次回は、宮崎市の帖佐 宣昭先生にお願いします]



## あなたできますか？

— 平成26年度 医師国家試験問題より —

(解答は45ページ)

1. 肺癌患者において放射線治療の適応でないのはどれか。
  - a 限局型小細胞癌
  - b 上大静脈症候群
  - c 癌性胸膜炎
  - d 骨転移
  - e 脳転移
2. 臨床試験において偶然誤差に関連するのはどれか。
  - a 症例数
  - b プラセボ
  - c 二重盲検法
  - d 無作為割付
  - e intention to treat (ITT)
3. 薬物による児の形態異常が最も起こりやすい時期はどれか。
  - a 着床から妊娠3週末まで
  - b 妊娠4週から妊娠11週末まで
  - c 妊娠12週から妊娠15週末まで
  - d 妊娠16週から妊娠19週末まで
  - e 妊娠20週から妊娠23週末まで
4. 放射線の防護・管理について正しいのはどれか。
  - a 臨床検査技師は医師の指示により人体に放射線を照射することができる。
  - b 妊娠している診療放射線技師は放射線業務に就くことができない。
  - c 放射線診療で患者が受ける被ばくにも線量限度が定められている。
  - d 放射線診療における行為の正当化は診療放射線技師が判断する。
  - e 公衆被ばくの線量限度は職業被ばくの線量限度より低い。
5. 放射線治療の通常分割照射で正しいのはどれか。
  - a 週に5日照射する。
  - b 1日に2回以上照射する。
  - c 全治療期間は12週である。
  - d 組織内照射において用いる。
  - e 1回の線量は5 Gy以上である。
6. 2歳0か月児の発達で正しいのはどれか。2つ選べ。
  - a 2語文を言う。
  - b 小走りが出来る。
  - c 自分の年齢を言う。
  - d 自分の名前を言う。
  - e 1人で階段を降りることができる。
7. 中毒性表皮壊死症 (toxic epidermal necrolysis) において重症薬疹を示唆する所見はどれか。
  - a 白斑
  - b 膨疹
  - c 発赤
  - d 苔癬化
  - e 粘膜びらん
8. WHO憲章前文に述べられている健康の定義を示す。  
Health is state of complete physical, mental and ( ) well-being and not merely the absence of disease or infirmity.  
( )内に入るのはどれか。
  - a economical
  - b philosophical
  - c political
  - d social
  - e spiritual
9. 飲酒について正しいのはどれか。
  - a 我が国のアルコール消費量は近年、増加傾向を示している。
  - b 適度な飲酒の量は純アルコールで1日平均40 gとされている。
  - c 飲酒開始年齢とアルコール依存症の発症リスクとは関係がない。
  - d 女性は男性と比較してアルコールによる臓器障害を起こしやすい。
  - e 1日平均飲酒量が増えるとともに虚血性心疾患の罹患率は直線的に上昇する。
10. 更年期障害に対するホルモン補充療法の禁忌はどれか。2つ選べ。
  - a 乳癌
  - b うつ病
  - c 骨粗鬆症
  - d 脂質異常症
  - e 深部静脈血栓症

## メディアの目



## 動物を見る目

朝日新聞社 宮崎総局長

いま い きよ みつ  
今 井 清 満

昨年、小学1年の息子が「ウサギを飼いたい」と言い出した。おもちゃと違って、命あるもの。毎日きちんと世話ができるのか——。懐疑的な気持ちになり、反対した。以前、金魚やミドリガメを小さな水槽で飼っていたが、えさやりや水槽の掃除を喜んでしていたのは最初のうちだけ。おもちゃと同じように、いつのまにか興味を示さなくなった。世話をサボるような飼い主に巡り合ってしまった側に同情した。

ところが、ある日、ウサギの写真がメールで送られてきた。結局、息子にせがまれた妻が仕方なくペットショップで買ったそうだ。それから半年。えさと飲み水の補給、ケージの掃除など、責任感が芽生えてきたのか、妻の手助けがあつてなのか、いまのところ何とか世話は続けられているようだ。

一方、県内の小中学生を対象にした「動物の作文コンクール」では、そんなだらしなない飼い主の話は出てこない。動物園などでのゾウやシマウマの飼育体験でドキドキ、ワクワクした感想、自宅や祖父母宅で飼っている犬や猫、ウサギ、ハムスターといったペットへの愛情、保健所で処分される犬や猫などを例に命の大切さなどがつづられている。

コンクールは宮崎市フェニックス自然動物園と朝日新聞宮崎総局の共催で、今回が42回目。

寄せられた作品は1,300を超え、過去最多になった。子どもたちの動物に対する関心の高さを表す一例かもしれない。審査の過程では毎回、子どもたちの優しさとともに、動物の表情やしぐさをとらえる観察眼の鋭さ、動物たちの気持ちを想像させる表現の豊かさに驚かされている。

今回の特別賞(県知事賞)には、JRA宮崎育成牧場で幼いころに馬と出会ったことから、目標となる将来の仕事を見つけたという話を選ばれた。筆者は馬術競技をする宮崎市の中学1年の女子生徒。人馬一体となって初めて成功する競技だからこそ、ペットとは異なる馬への思いが語られている。同年齢だったころの自分を思い返すと、とても将来の仕事などについて考えてもいなかった。

もう一つの特別賞(宮崎市長賞)は、都城市の小学6年の女子児童の作品。自宅で飼っているプードル犬が6匹の子犬を産み終わるまでの様子を描いた。生まれたばかりの子犬や母犬の表情、見守る筆者や家族の気持ちが臨場感とともに伝わってくる。新聞記者でも、そう簡単には書けない、と言ったら褒めすぎだろうか。

特別賞を含む入賞11作品は2月から随時、朝日新聞宮崎版で紹介する。殺伐としたニュースが多い中、たまには心温まる話もいかが。機会があれば、ぜひご一読を。

## 宮崎大学医学部だより

### 発達泌尿生殖医学講座 一産婦人科学分野一



さかい ひろし  
鮫島 浩 教授

当教室は、平成23年1月16日から鮫島浩教授のもと地域医療、医学教育に取り組んでいます。昭和50年4月に初代教授である森憲正教授が開講され、池ノ上克教授(現学長)を経て3代目

になります。現在の医局員は58人でこのうち大学病院勤務は20人、留学(カナダオンタリオ大学)が1人、子育てをしながら勤務する女性医師は5人います。定期的にカナダオンタリオ大学、米カルフォルニア大学アーバイン校との交流を行っています。

#### \*診療

診療は大きく3つの部門に分かれています。

母体胎児部門は、総合周産期母子医療センターとして宮崎県内の開業医の先生、地域周産期医療センターからハイリスク母体搬送を24時間体制で産科医、助産師が受け入れ管理しています。新生児部門(NICU9床、GCU12床)では妊娠22週以降の超低出生体重児から合併症を持つ新生児、小児外科疾患に至るまで小児科、外科の先生とともに診療しています。宮崎県内を網羅した母体、新生児搬送システムの稼働によって周産期死亡率は低く推移し平成25年は全国8位、平成26年は2位と良好な成績を収めています。また平成23年からは助産師外来、院内助産を開始し年間数十例の分娩を取り扱っており来年度は助産師を増員しさらなる拡充を予定しています。婦人科部門では婦人科癌を中心に手術療法、

化学療法等の集学的治療を行っており、平成27年からは腹腔鏡手術も開始いたしました。また年に2回婦人科症例報告会を開催しています。各医療機関の先生方とともに症例の振り返り、婦人科疾患のレクチャーを行っています。外来は平成27年から初診は完全予約制になりました。大学での症例を絞り込み宮崎県の最後の砦として搬送を受け入れ可能な体制を整えています。

#### \*研究

周産期検討会でのデータを基礎に宮崎県のpopulation based studyを行っています。そのデータから周産期予後の改善に繋がる周産期因子等の検討を行っています。また鮫島教授のライフワークである胎児心拍数モニタリングを用いた胎児、新生児の低酸素症と脳障害、切迫早産、子宮内感染症等について研究を行っています。新生児の分野においては早産児の生存率は近年向上してきましたが長期的な予後の改善(慢性肺疾患、神経学的予後)については未だ解決されていない問題です。そのため臨床データを逐次集積分析し新生児管理に反映しています。また研究課題としてサイトメガロウイルス感染の母子感染の実態把握調査、および切迫早産の硫酸マグネシウムの神経保護作用に関する検討等の研究が現在進行中です。当教室主催の学会として去年は九州新生児研究会を主催し、来年は妊娠糖尿病学会を開催する予定です。

#### \*医局の展望

一昨年、昨年と入局者に恵まれ、現在は平成29年から開始となる新専門医プログラムに向け県内外の病院と連携する予定で、幅広い知識、技能を身に着けることができるよう魅力的な研修プログラムを鋭意作成中です。当教室は今後も地域医療に根差した診療と産婦人科医師の育成を進めてまいります。(医局長 川越 靖之)

### 宮崎県感染症発生動向 ～12月～

平成27年11月30日～平成28年 1月 3日(第49週～53週)

#### ■全数報告の感染症

- 1類：報告なし。
- 2類：○結核22例：保健所別報告数を【図1】に示した。患者が15例、無症状病原体保有者が4例、疑似症患者が3例であった【表1】。患者は肺結核が13例、その他の結核(結核性胸膜炎)が2例であった。性別は男性13例・女性9例で、年齢別報告数を【表2】に示した。
- 3類：○腸管出血性大腸菌感染症1例：日南保健所管内で報告があった。60歳代で無症状病原体保有者であった。原因菌のO血清型はO91(VT1産生)であった。
- 4類：○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)1例：延岡保健所管内で報告があった。60歳代女性で、主な症状として発熱、頭痛、嘔吐、食欲不振、全身倦怠感、血小板・白血球減少、刺し口がみられた。海外渡航歴はなかった。11月下旬に発症した。  
○つつが虫病29例：保健所別報告数を【図2】に示した。性別は男性19例・女性10例であった。年齢別では60歳代が9例と最も多く、全体の約3割を占めた【表3】。主な症状として、発熱、頭痛、刺し口、リンパ節腫脹、発疹がみられた。  
○レジオネラ症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。60歳代で、病型は肺炎型であった。主な症状として、発熱、呼吸困難、肺炎がみられた。
- 5類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。90歳代で、主な症状として肺炎がみられた。原因菌は*Enterobacter aerogenes*であった。  
○急性脳炎1例：宮崎市保健所管内で報告があった。1～4歳で、主な症状として発熱、痙攣、意識障害がみられた。原因病原体は不明であった。  
○クロイツフェルト・ヤコブ病1例：宮崎市保健所管内で報告があった。70歳代で、病型は古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD)で診断の確実度はほぼ確実であった。主な症状として、進行性認知症、ミオクローヌス、錐体路・錐体外路症状、記憶障害、精神・知能障害がみられた。  
○侵襲性髄膜炎菌感染症1例：宮崎市保健所管内で報告があった。60歳代で、主な症状として発熱、菌血症、関節炎がみられた。海外渡航歴はなかった。血清群は不明であった。

#### ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数3,783人(定点あたり117.8)で、前月比118%と増加した。また、例年の77%と少ない。前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症と流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は伝染性紅斑と流行性耳下腺炎であった。

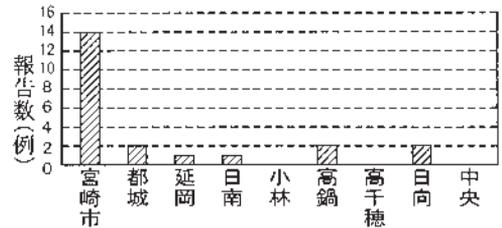


図1 結核 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

|                |    |
|----------------|----|
| 肺結核            | 13 |
| その他の結核(結核性胸膜炎) | 2  |
| 無症状病原体保有者      | 4  |
| 疑似症患者          | 3  |

表2 結核 年齢別報告数(例)

| 0～4歳 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳以上 |
|------|------|------|------|-------|
| 1    | 3    | 2    | 6    | 10    |

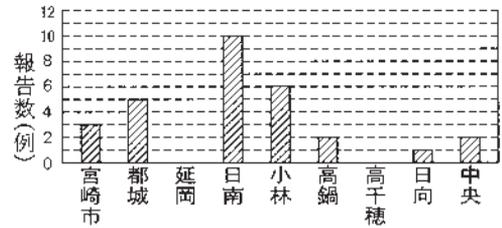


図2 つつが虫病 保健所別報告数

表3 つつが虫病 年齢別報告数(例)

| 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代 | 80歳代 |
|------|------|------|------|------|------|
| 1    | 3    | 2    | 9    | 8    | 6    |

#### 前月との比較

|                | 2015年12月 |          | 2015年11月 |          | 例年との比較 |
|----------------|----------|----------|----------|----------|--------|
|                | 報告数(人)   | 定点当たり(人) | 報告数(人)   | 定点当たり(人) |        |
| インフルエンザ        | 44       | 0.7      | 10       | 0.2      |        |
| RSウイルス感染症      | 321      | 8.9      | 101      | 2.8      | ★      |
| 咽頭結膜熱          | 126      | 3.5      | 104      | 2.9      |        |
| ※溶レン菌咽頭炎       | 548      | 15.2     | 398      | 11.1     | ★      |
| 感染性胃腸炎         | 1,862    | 51.7     | 1,837    | 51.0     |        |
| 水痘             | 172      | 4.8      | 112      | 3.1      |        |
| 手足口病           | 48       | 1.3      | 59       | 1.6      |        |
| 伝染性紅斑          | 142      | 3.9      | 113      | 3.1      | ★      |
| 突発性発しん         | 126      | 3.5      | 163      | 4.5      |        |
| 百日咳            | 0        | 0.0      | 0        | 0.0      |        |
| ヘルパンギーナ        | 7        | 0.2      | 5        | 0.1      |        |
| 流行性耳下腺炎        | 291      | 8.1      | 170      | 4.7      | ★      |
| 急性出血性結膜炎       | 0        | 0.0      | 0        | 0.0      |        |
| 流行性角結膜炎        | 91       | 2.5      | 73       | 2.1      |        |
| 細菌性髄膜炎         | 0        | 0.0      | 0        | 0.0      |        |
| 無菌性髄膜炎         | 0        | 0.0      | 1        | 0.1      |        |
| マイコプラズマ肺炎      | 5        | 0.1      | 16       | 0.4      | ★      |
| クラミジア肺炎        | 0        | 0.0      | 0        | 0.0      |        |
| 感染性胃腸炎(ロタウイルス) | 0        | 0.0      | 1        | 0.1      |        |

★ 例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い  
 ※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

RSウイルス感染症の報告数は321人(8.9)で前月の約3.2倍、例年の約2.3倍であった。高鍋(18.0)、日南(16.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は548人(15.2)で前月の約1.4倍、例年の約1.5倍であった。日向(35.0)、日南(22.7)、延岡(22.3)保健所からの報告が多く、年齢別では3～6歳が全体の約6割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は142人(3.9)で前月の約1.3倍、例年の約25.7倍であった。延岡(6.3)、宮崎市(6.2)保健所からの報告が多く、年齢別では4～6歳が全体の約半数を占めた。

流行性耳下腺炎の報告数は291人(8.1)で前月の約1.7倍、例年の約7.4倍であった。延岡(33.5)保健所からの報告が多く、年齢別で4～5歳が全体の約4割を占めた。

■病原体検出情報(微生物部)

|                  | 検出病原体                   | 件 |
|------------------|-------------------------|---|
| ウ<br>イ<br>ル<br>ス | アデノウイルス54型              | 1 |
|                  | エコーウイルス16型              | 1 |
|                  | 単純ヘルペスウイルス1型            | 1 |
|                  | ヒトヘルペスウイルス6型            | 1 |
|                  | ライノウイルス                 | 3 |
|                  | RSウイルス                  | 1 |
| 細<br>菌           | 腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT:H2)  | 1 |
|                  | 腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT:H21) | 1 |
|                  | 腸管病原性大腸菌(EPEC)(OUT:H40) | 1 |

■月報告対象疾患の発生動向  
(2015年12月)

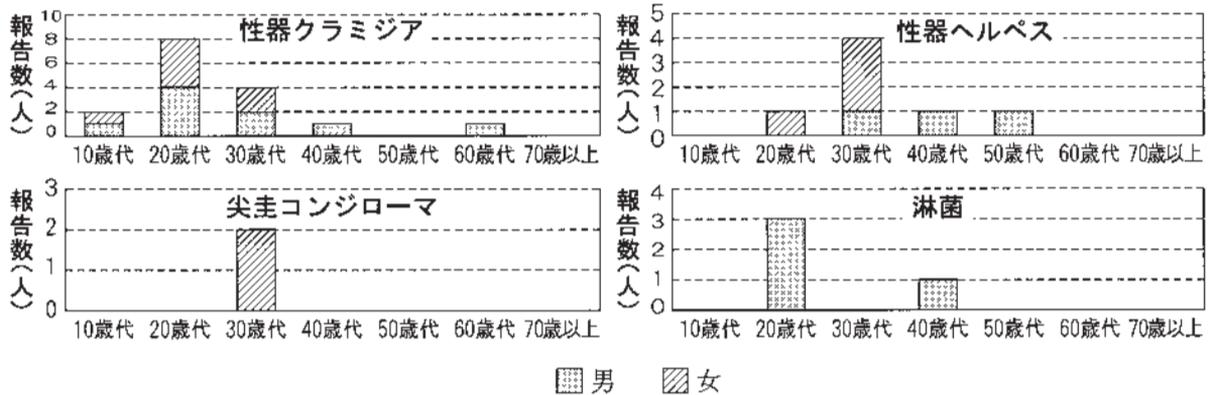
□性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は29人(2.2)で、前月比81%と減少した。また、昨年12月(2.9)の78%であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数16人(1.2)で、前月及び昨年12月の約0.6倍であった。20歳代が全体の半数を占めた(男性9人・女性7人)。
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約2.3倍、昨年12月の7.0倍であった(男性3人・女性4人)。
- 尖圭コンジローマ：報告数2人(0.15)で、前月と同じ、昨年12月の2.0倍であった(女性2人)。
- 淋菌感染症：報告数4人(0.31)で、前月と同じ、昨年12月の0.4倍であった(男性4人)。



□薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で前月比76%と減少した。また昨年12月(3.0)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数17人(2.4)で、前月の約0.7倍、昨年12月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月及び昨年12月と同じであった。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人(0.14)で、昨年12月と同じであった(前月報告なし)。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 各郡市医師会だより

### 西 諸 医 師 会

平成28年度の予算編成大綱が決定になり、4月の診療報酬改定で本体部分は0.49%のプラスとなりました。マスコミは、相も変わらず診療報酬本体部分＝医師給与などとする恣意的ともいえる報道を続けています。世界に冠たる現在の国民皆保険制度を、いかに持続可能なものとして次世代に引き継いでいくのか、だれもが確固たる答えを持ち合わせずに、時間ばかりが過ぎてしまっているように感じるのは私だけでしょうか。

同じく大綱では、「将来の安心を確保する社会保障制度等」と銘打ち、質の高い医療を実現するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療機能の分化・強化、更なる連携、質の高い在宅医療の充実、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師の機能の強化を図ることなどがうたわれています。

当地区でも、昨年より協議を進めておりました地域包括ケアシステム構築への取り組みにより、1月に在宅医療・介護連携推進協議会が発足し、平成29年度の在宅医療・介護連携支援センター(仮称)の設置に向け、医師会が中心となり二市一町、介護福祉関係者とともに協議が進んでいく予定です。

以前より西諸医師会は、行政と西諸医療懇話会等を定期的に開催して良好な関係を築いてきました。今後も行政や他職種団体との連携・協力を強化し、これからの難局を乗り越えていく所存です。

(花田 武浩)

### 宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会では、2020年度(平成32年度)に医師会病院や夜間急病センター、宮崎看護専門学校、臨床検査センター、成人病検診センター、事務局等の本会諸施設を宮崎西インターチェンジ近郊に新築移設する予定で、設計会社も決定し着々と準備を進めています。

高齢者社会への対応として、地域包括ケアシステムの構築が重要とされ、地域医療構想の策定や診療報酬の改定と医療情勢は大きな変革期にきています。医療提供体制が破綻すると地域医療は守れません。この難局を皆で知恵を絞って乗り切りたいと思っています。(白尾 一定)

### 都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

医療ゾーン3施設とも移転後順調なスタート

をきって早くも1年を迎えます。これも職員皆様の努力、行政や医師会の支援の賜物と考えております。ただ医師を含めた職員の高齢化や人員確保、給与費を含めた支出の増加など問題点も多く鋭意努力していきたいと思っております。また医師会館の老朽化も喫緊の課題であり、併設の看護学校の運営形態をどうするかも含め検討中です。どれもこれもお金のかかる問題で頭の痛いところですが、皆様の理解や支援をお願いし進めていきたいと思っております。

(長倉 穂積)

### 延 岡 市 医 師 会

延岡市医師会病院には現在、外科3名、内科3名、放射線科2名の計8名の先生方に勤務していただいておりますが、今も医師募集を行っています。一昨年には東九州自動車道が延岡～大

分間で開通し、昨年は延岡～宮崎間で開通しました。交通の便が良くなり延岡の地に来ていただける先生方が増えてきているような気になっていましたが、現実に医師会病院に勤務していただける先生を捜すとなると以前と同じような困難に直面しています。給与面の待遇も改善しましたし、勤務条件も融通の利くものになっています。

宮崎市や大分市まで車で約1時間、サーフィンのメッカお倉ヶ浜に近い病院に来ていただける先生を捜す日々を今後も続ける予定です。

(溝口 直樹)

### 日向市東臼杵郡医師会

昨年12月に、県福祉保健課と「かかりつけ医と精神科医の連携に関わる委託事業」の契約を行いました。

当事業はかかりつけ医と精神科医の連携を強化し、うつ病の早期発見・早期治療のための地域ネットワークを構築して自殺防止を図るものです。

当医師会で協議会を立ち上げ、地域の実態に沿う連携の在り方を構築するために、気兼ねなくかかりつけ医に相談できるリーフレット、かかりつけ医と精神科医双方に負担のかからない情報提供様式を作成しました。

今後2月末までこの様式で試行的に実施することにし、先日医療機関の方々に説明会を開催したところです。その後、結果を分析したうえで、正式に事業を開始することになっています。

(渡邊 康久)

### 児 湯 医 師 会

2016年度の児湯准看護学校の募集状態が悪いようです。推薦入試での合格者は7名でした。1名を不合格とした理由は、高校での欠席日数が余りにも多かったためです。昨年と同じ高校

の生徒を推薦で合格としたのですが、入学式の一日だけ登校し退学してしまう結果でした。一般入試では、受験生が少なく8名の合格でした。現在合計15名の合格者数です。定員20名ですので、今後二次・三次募集が必要と思われます。看護学校の経営が医師会の赤字の大きな原因でもあり、何とか定員割れにならないようにと祈っているところです。

(蟻塚 高生)

### 西 都 市 西 児 湯 医 師 会

本年1月例会時に、在宅医療実施施設とその後方支援にあたる二次救急医療機関等が、在宅医療への理解を深めることで、連携強化や体制整備を行うことを目的とし、第1回目の在宅医療実施施設と救急医療機関の連絡協議会を開催しました。今回は西都市消防本部より事例報告をしていただきました。西都西児湯地区の“ご当地システム”としての在宅医療介護の連携を、地域包括ケアシステムにおける多職種連携の推進と共に運動させて、顔の見える関係を築いていきたいと思います。

(松本 英裕)

### 南 那 珂 医 師 会

「宮崎県医療介護連携退院調整実証事業」が県のモデル事業として当地域で進行中で、患者さんが退院する際に介護が必要な状況であれば、ケアマネージャーと協力して円滑な退院後の生活が可能のように医療介護が連携して、退院調整のルール策定に取り組んでいます。また、日南市主導ですが、在宅医療介護連携情報共有システム(Net4U)が稼働しており、訪問看護の状況やサービス担当者会議の情報等の情報がネット上で共有できるシステムで、患者さんの登録が少しずつ増えています。

この2つが連動できるには医師会の役割が重要と考えます。

(中村 彰伸)

## 薬事情報センターだより (345)

## 新薬紹介(その84)

今回は11月に薬価収載されたセロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤イフェクサーSRカプセル37.5mg・75mg(一般名:ベンラファキシン塩酸塩)と経口血小板産生促進剤/トロンボポエチン受容体作動薬ムルプレタ錠3mg(一般名:ルストロンボパグ)について紹介いたします。

## イフェクサーSRカプセル37.5mg・75mg(一般名:ベンラファキシン塩酸塩)

イフェクサーSRは、うつ病・うつ状態に適応を有する、セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤(SNRI)で、1日1回投与の徐放性製剤です。低用量では主にセロトニン系に、高用量ではセロトニン系とともにノルアドレナリン系の作用がより強まることが示されています(*in vitro*)。

本剤は、「うつ病・うつ状態」を効能・効果として、2015年9月に製造販売承認され、12月にファイザー株式会社から発売されました。なお、ベンラファキシンは1日2～3回投与の即放錠として開発され、1993年にニュージーランドで承認されました。その後、治療アドヒアランスの向上を目的として、1日1回投与の徐放性カプセル製剤が開発され、1997年にスイスで承認されたのをはじめ、2015年4月現在で90以上の国と地域で承認されています。

国内臨床試験において、本剤が投与された総症例1,255例中1,028例(81.9%)に副作用が発現しました。主な副作用は、悪心(33.5%)、腹部不快感(腹痛、膨満、便秘等)(27.2%)、傾眠(26.9%)等でした(承認時)。なお、重大な副作用として、セロトニン症候群、悪性症候群、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群(SIADH)、QT延長、心室頻拍(torsades de pointesを含む)、心室細動、痙攣、アナフィラキシー、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)、多形紅斑、横紋筋融解症、無顆粒球症、再生不良性貧血、汎血球減少症、好中球数減少、血小板数減少、間質性肺疾患、高血圧クリーゼ、尿閉があらわれることがあります。

## ムルプレタ錠3mg(一般名:ルストロンボパグ)

ムルプレタ錠(一般名:ルストロンボパグ)は、塩野義製薬株式会社で創製された経口投与で薬効を発揮する低分子のトロンボポエチン(TPO)受容体作動薬です。ヒトTPO受容体に選択的に作用し、TPOの一部のシグナル伝達経路を活性化することによりヒト骨髄前駆細胞から巨核球系への細胞の増殖並びに分化誘導を促進し、血小板数を増加させます。

従来、慢性肝疾患による血小板減少患者に対して観血的手技を行う際には、出血リスクを回避する目的で、主に血小板輸血が行われていましたが、本剤は経口投与による血小板産生の促進が可能であり、血小板輸血に由来する諸問題を解消する薬剤として、その臨床的有用性が期待されています。その反面、その薬理作用から血小板増加に伴う血栓症、血栓塞栓症が発症する危険性を否定できません。また、重度の血小板減少を伴う慢性肝疾患患者では、門脈系の血栓症や血栓塞栓症を発症しやすい状態にあるため、本剤の投与にあたっては十分な注意が必要と考えられます。

本剤は、「待機的な観血的手技を予定している慢性肝疾患患者における血小板減少症の改善」を効能・効果として、2015年9月に製造販売承認され、12月に塩野義製薬株式会社から発売されました。

承認時における安全性評価対象例157例中、臨床検査値の異常変動を含む副作用は21例(13.4%)に認められました。主な副作用は、発熱3例(1.9%)、発疹3例(1.9%)でした。なお、重大な副作用としては、血栓症があらわれることがあります。

## (参考資料)

イフェクサーSRカプセル37.5mg・75mg、ムルプレタ錠3mg各添付文書・インタビューフォーム

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## — 各種委員会 —

## 医学賞選考委員会

と き 平成平成27年12月7日(月)

ところ 県医師会館

上田理事より開会、濱田副会長の挨拶後、中山委員長の進行により今年度の医学賞について協議した。

昨年発行された38巻第1号および第2号を対象とし、各専門分科医会に事前に論文の推薦を

依頼したところ、4つの論文について推薦があった。この4つ以外の論文も含め検討した結果、「当院における人工股関節置換術の検討」(柏木輝行先生他 第38巻第2号)の1論文について、多くの症例についてまとめた論文である点が評価され、医学賞受賞候補論文として河野県医師会長に推薦することとなった。

出席者—中山委員長、松岡副委員長、  
河野・濱田・小牧・上田委員  
(県医) 牧野課長・高山主事

## 医療事故調査制度

## 宮崎県医師会 相談窓口

宮崎県医師会は支援団体として、県内の医療機関をサポートいたします。

医療事故の判断に迷った時、また、医療事故と判断した時は、宮崎県医師会までご連絡ください。

宮崎県医師会 電話 0985-22-5118

## 【受付時間】

平日の8時30分から18時、土曜日8時30分から12時30分の時間帯は、県医師会事務局の代表電話(0985-22-5118)で対応いたします。

時間外または日曜祝祭日等県医師会が対応できない場合は、国が指定した東京の医療事故調査・支援センター相談専用電話(03-3434-1110)にご連絡ください。

## 【その他】

この制度は、医療事故の再発防止により医療の安全を確保することを目的にした制度です。対象事案を報告するか否かについては、医療機関の管理者が組織として判断することになっており、ご遺族から医療事故調査・支援センターに直接報告や調査依頼をする仕組みではありません。

## 九州各県医師会学校保健担当理事者会

と き 平成27年11月28日(出)

ところ 福岡県医師会館

担当の熊本県の宮崎常任理事の司会により開会后、高橋副会長より挨拶があった。続いて、長崎県の星子常任理事から、8月1～2日に長崎県で開催された「第59回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに平成27年度九州学校検診協議会(年次大会)」についてお礼が述べられた。その後、慣例により高橋副会長が座長に選出され、協議が行われた。

### 協 議

#### 1 第60回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに平成28年度九州学校検診協議会(年次大会)について(熊本県)

熊本県の加来理事より、資料に基づき下記の日程で行う旨の説明があり、原案どおり承認された。

日 時：平成28年 8月 6日(出)15：00～20：30

8月 7日(回)9：00～15：00

場 所：ホテル日航熊本

メインテーマ：「地域社会が支える子どもの未来～子どものメンタルヘルスの正しい知識～」

#### 2 新しい学校健康診断における保健調査票について(大分県)

##### 提案理由

既存の保健調査票には、各教育委員会の独自のものが使用されている。今回、学校保健安全法の改正により、法で保健調査票の活用が示され、いかに運用するかが問われている。

既存のものとの整合性を含め、健康診断の精度を高め、健康教育に資するものでなければならぬ。日本医師会学校保健委員会の示す保健調査票はどのように利用されるのだろうか。全国で出来るだけ統一されたものであるに越したことはないと思うが、各県いか



に対応されるのか教えてほしい。

##### 協議内容

各県とも、日本学校保健会発刊「児童生徒等の健康診断マニュアル」に即した内容で保健調査票を作成する予定であるとの報告があった。日医学校保健委員会で示された3つのパターンの保健調査票案の中で、精度と効率性を考え、記載項目が中程度のものが望ましいとの意見があった。

#### 3 平成28年度からの新たな健康審査における運動器検診のための研修・講習について(大分県)

##### 提案理由

日本学校保健会から新しい検診マニュアルが配布されたが、短時間で精度の高い検診を行うための技術・判断基準をどのように学校医へ周知するか苦慮している。

10月21日には日本医師会が学校保健担当理事連絡協議会を開催し、総論的なことは学ぶことが出来るであろうが、地域の実情に合った具体的検診方法を習得するには、今後どのように研修会、講演会を企画すべきであろうか。各県の実情と対策をお教え願いたい。

**協議内容**

各県とも各教育委員会等関係機関と協議の上、運動器検診を含む健康診断の実施方法について学校医や学校関係者向けの研修等を開催予定であることが報告された。

**4 色覚異常の児童・生徒への対応について  
(福岡県)****提案理由**

色覚異常のある児童・生徒への各県の対応についてお伺いしたい。

**協議内容**

学校保健法施行規則の一部改正の趣旨を十分に踏まえ、各県とも以下に留意し対応することが確認された。

- ①学校医による健康相談において児童生徒や保護者の事前の同意を得て個別に検査、指導を行うなど、必要に応じ、適切な対応ができる体制を整えること。
- ②教職員が色覚異常に関する正確な知識を持ち、学習指導、生徒指導、進路指導等において、色覚異常に配慮を行うとともに適切な指導を行うよう取り計らうこと等を推進すること。特に、児童生徒が自身の色覚の特性を知らないまま不利益を受けることのないよう、保健調査に色覚に関する項目を新たに追加するなど、より積極的に保護者等への周知を図る必要があること。

**5 学校医ポスター作成について(沖縄県)****提案理由**

学校保健事業における学校・PTA・学校医等の連携を図ることを目的に、本会では各学校等に掲示をいただくポスターを作成したので報告する。

本ポスターは地区医師会を通じ、各学校等の関係団体にご送付いただくことで、より地域に密着し児童生徒等の健康の保持増進や、学校教育活動に必要な健康や安全への配慮が図られるものと考えており、平成27年9月10日付にて県内7地区医師会へ送付した。

各県において、学校との連携を良くするた

めの工夫があれば教えていただきたい。

**協議内容**

学校保健事業を行う上で、学校と保護者と学校医との連携は不可欠であるので、沖縄県の取組みを参考にすることとなった。

**6 学校健診における専門医(眼科・耳鼻科等)の配置工夫について(沖縄県)****提案理由**

本県中部地区では、9市町村の管轄内で学校健診を行っているが、一人の医師が3科(内科・眼科・耳鼻科)健診を行っており、学校医配置に苦慮している現状がある。

会員や学校より専門医の配置を行って欲しいとの要望があるが、各県において専門医の配置はどのように工夫して行っているのか教えていただきたい。

**協議内容**

多くの県において専門医(眼科・耳鼻科等)は複数校を担当していること、また管轄地区外へも配置されていることが報告された。

**7 学校健診終了後における養護教諭や学校医へのアンケート調査について(沖縄県)****提案理由**

本県中部地区では、学校健診終了後に養護教諭・学校医へのアンケート調査を行っており、養護教諭、学校医からの現場の状況を確認し、連絡が取れるよう努めている。

各県での学校健診終了後の現場の状況確認はどのように行っているのか教えていただきたい。また、どのような要望があるのか参考にしたい。

**協議内容**

アンケートを実施していない県がほとんどだが、一部、学校関係者側で意見を集約している地域があった。学校から意見や要望があった場合は随時対応をしていることが報告された。

出席者…高村常任理事、久永課長、  
野尻課長補佐

## 平成27年度九州学校検診協議会第2回専門委員会

と き 平成27年11月28日(土)

ところ 福岡県医師会館

### 1 心臓部門 座長：吉永 正夫 (鹿児島県医師会学校保健委員会委員)



平成24～26年の3年間で九州各県から計276例が報告された。基礎疾患として心血管疾患が起因した例は28例であり、心筋症8例、不整脈疾患7例、先天性心疾患6例であった。単一疾患としては肥大型心筋症の7例が一番多かった。不整脈疾患の中で多いとされているQT延長症候群は0であった。

出席者—高村常任理事，高木学校医部会理事，久永課長

### 2 腎臓部門 座長：服部 新三郎 (熊本県医師会学校検診委員会委員)



#### 1) 学校心臓検診 一次・二次・三次(精密検査)の受診者数について(鹿児島県)

学校心臓検診一次・二次・三次の受診者数と受診率についての九州各県からの回答では二次検診を行っている地域としない地域が混在していたため、前回の委員会で集計方法が問題となった。今回二次検診の有無別で再集計を行った結果が報告された。

#### 2) 児童生徒の心肺蘇生事例調査【中間報告】について(九州各県)

座長がとりまとめた『児童生徒の心肺蘇生事例調査【中間報告】』について、各県がどのようなところに送付をしているか照会があった。郡市医師会や教育委員会、消防機関に送っている例が多かった。

#### 3) 児童生徒の心肺蘇生事例調査(平成26年分を加えたもの)概要報告について(鹿児島県)

座長から調査結果の概要の説明があった。

#### 1) 九州学校腎臓病検診マニュアル(第4版)について～本マニュアルの「尿蛋白/クレアチニン比(U<sub>p</sub>/U<sub>cr</sub>)」の正常基準を「0.2未満」から「0.15未満」へ変更～(鹿児島県)

昨年、日本小児腎臓病学会CKD対策委員会が、多施設共同研究によって初めて多数例の日本人小児の早朝尿第一尿の尿蛋白/Cr

の解析を行い、0.15g/gCrが妥当であると結論を出している。これを受け、日本小児腎臓病学会から出版された「小児の検尿マニュアル」でも0.15を明示していることから変更したいとの提案があり、全県賛成で変更することに決定した。

## 2) 平成28年度以降の検尿結果のまとめかたについて

### (1) 学校検尿集計結果の集計項目の追加について(宮崎県)

毎年、学校検尿の検診結果を九州全体で集計し、九州の学校検尿の現状が把握できるようになった。集計結果をより有効に利用できるように、各県単位で三次検尿の異常なしを除く異常者数と割合(%)を集計することの提案に対し、異常なしの数値も必要であることから、これまで通りの集計を行うこととなった。

### (2) 集計表の及び正誤表の改訂について

(福岡県)

集計表の二次検尿欄を追加し、一次・二次検尿では尿異常の内容欄に「血尿単独陽性」、「蛋白単独陽性」、「血尿+蛋白陽性」を追加する。また、正誤表に新たな疾患名を追加する提案について、提案された様式で集計することとなった。

### 3) 私立学校への学校検尿結果開示請求について～私立学校などへの学校検尿結果開示要望書～(福岡県)

尿異常の内容が分かれば開示していただくように、学校検尿結果開示要望書案を改定したいという提案があり、提案された要望書で私立学校等へ依頼をすることになった。集計についてはできるところから行っていくことになった。

### 4) 三次検尿の受検率が低いことについて(熊本県)

平成26年度の最終結果報告によると、三次検尿の受検率が、九州合計では小学校66.8%(58.4%～83.5%)、中学校56.03%(48.1%～79.26%)と受検率が低い。ご意見をいただき改善につなげたいとの提案があった。

多くの県で学校や教育委員会に対し受検勧奨はしているものの受検率向上になかなかつながらないことが報告され、引き続き検討していくことになった。

出席者－宮田学校医部会理事、野尻課長補佐

## 3 小児生活習慣病部門 座長：田崎 考 (九州学校検診協議会専門委員)



### 1) 平成26年度九州地区尿糖陽性者群集計結果のまとめについて(佐賀県)

今後の集計については、できるだけ小中高・男女別に分けること、また、精密検査(二次検査)以降の状況についても委員会で把握していくこととなった。

### 2) 大分県小児生活習慣病予防健診フローチャートについて(九州各県)

第1回専門委員会での検討結果を反映した修正案を県、各郡市医、市町村教育委員に提示したが、指摘等はなかったことが大分県より報告された。

### 3) 小児生活習慣病予防健診の動向(活動状況)について(佐賀県)

組織的に大きな動きのあった県、新たに健診を開始した市町村があった。しかし、費用助成等の金銭的な問題や、受診後のアフターフォロー等の課題がまだ多く残っている。先行している県の例(大分県のフローチャートや福岡市のマニュアル、北九州市の注意喚起文)を参考に各県でも取り組んでいくこととした。

### 4) 尿糖陽性者の集計の中に、肥満度の情報を加えることについて(福岡県)

肥満度情報の追加は有益であり、賛同する意見が多くあがった。健康診断マニュアルの改訂に伴い、肥満度の算出が容易になったことから、福岡県では、学校側で肥満度を入力した受診票を発行することが決定した。マニュアル改訂を機に、各県でも受診票への肥満度記入欄追加を検討する方針となった。

出席者一澤田学校医部会学校検診委員、  
畠中主事

## 宮崎県医師会無料託児サービスのお知らせ



宮崎県医師会では、県医師会館で開催される講演会・研修会に参加される医師(医師会員でなくても可)のお子様を対象に本会館1階に臨時の無料託児ルームを設置いたします。県医師会が契約した保育士が対応いたします。

ご利用の場合は、事前の予約が必要となりますので、ご希望の方は開催日の2週間前までに県医師会までご連絡ください。



お問合せ先

宮崎県医師会

TEL 0985-22-5118

FAX 0985-27-6550

担当 畠中・久永

## 宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会

と き 平成27年12月15日(火)

ところ 県医師会館

協議会加盟団体(43団体)から関係者が参加し、下記のとおり代表者会を開催した。議事では満場一致で決議を選択しその実現に向け要望活動を行うこととなった。

### 次 第

(司会：宮崎県介護支援専門員協会長

牛谷 義秀)

#### 1 開 会

#### 2 接 拶

宮崎県地域医療・福祉推進協議会会長

河野 雅行

#### 3 議 事

1) 「国民医療を守るための総決起大会」(平成27年12月9日)について

##### (1)概要報告

宮崎県医師会常任理事 荒木早苗

##### (2)趣旨説明

①医療・介護の適切な財源確保に向けて  
宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会  
会長 池井義彦



②医療等に係る消費税問題について

宮崎県医師会常任理事 立元祐保

#### 2) 決議について

宮崎県看護協会会長 境 孝子

3) 宮崎県地域医療・福祉推進協議会への入会について

#### 4) その他

#### 4 閉 会

出席者一河野会長、富田副会長、立元・荒木・池井・牛谷常任理事、山内事務局長、竹崎次長、竹本主事

### 決 議

国民の健康への願いは、「国民皆保険」を実現させ、我が国は世界最高の健康水準を達成した。今後さらなる超高齢社会を迎えるなかで、我が国が自信を取り戻し、発展をし続けていくためには、社会保障を充実させ、国民に将来の安心を約束していくことが重要である。

よって、本協議会の総意として、次のとおり要望する。

一、国民に必要なかつ十分な医療・介護を提供するための適切な財源の確保

一、国民と医療機関等に不合理な負担を生じさせている医療等に係る消費税問題の抜本的な解決以上、決議する。

平成27年12月15日

宮崎県地域医療・福祉推進協議会

## 医師国保組合だより

# マイナンバー制度への対応について

これまでお知らせしておりましたとおり、平成28年1月から当組合においてもマイナンバー制度への対応が開始されました。

### 1 マイナンバーの利用目的について

当組合では被保険者のマイナンバーを、番号法別表第1の第30項「国民健康保険組合による保険給付の支給又は保険料の徴収に関する事務」において、被保険者資格の適用、保険給付および保険料徴収業務で利用します。

### 2 個人番号記入欄が追加された届出・申請書様式について

#### 資格関係

- ・被保険者資格取得届
- ・被保険者資格喪失届・包括喪失届
- ・被保険者氏名変更届
- ・被保険者住所変更届
- ・国保法第116条該当・非該当届
- ・被保険者証再交付申請書・紛失届
- ・高齢受給者証再交付申請書・紛失届
- ・高齢受給者基準収入額適用申請書

#### 給付関係

- ・国民健康保険療養費支給申請
- ・国民健康保険高額療養費支給申請書
- ・国民健康保険高額介護合算療養費支給申請書
- ・国民健康保険限度額適用・標準負担額減額認定申請書
- ・国民健康保険特定疾病認定申請書
- ・国民健康保険移送費支給申請書
- ・第三者行為による被害（傷病）届

### 3 既存の被保険者からのマイナンバーの提出について

現在ご加入の被保険者の方からのマイナンバーの提出については、詳細が決まり次第別途お知らせします。

※被保険者証の再交付申請や高額療養費の支給申請等、上記2の届出・申請を行う場合にはマイナンバーを記入して提出してください。その際には次の5に記載する本人確認に伴う書類が必要です。

#### 4 新規加入者からのマイナンバーの提出について

1月以降、新たに加入される方のマイナンバーについては、個人番号記入欄のある届出様式にマイナンバーをご記入いただくことで随時取得していきます。

#### 5 マイナンバー提出時の「本人確認(番号確認と身元確認)」について

マイナンバーの提供を受ける際は、なりすましを防止するため、厳格な本人確認が義務付けられています。そのため、マイナンバーが記載された届出・申請書を提出される際には、「番号確認」と「身元確認」をさせていただくことになります。以下に例を示していますのでご確認ください。

なお、郵送で提出される場合には、「番号確認」と「身元確認」の為の書類の写しを提出していただくことにより確認をいたします。

#### 本人確認(番号確認と身元確認)の方法例

例① 個人番号カードのみ(番号確認+身元確認)

※写しを提出する場合は表・裏の両面が必要です。

例② マイナンバーが記載された住民票の写し(番号確認)

+運転免許証, パスポート, 医師資格証等のいずれか(身元確認)

例③ 通知カード(番号確認)

+運転免許証, パスポート, 医師資格証等のいずれか(身元確認)

※組合員の家族の身元確認は、組合員が実施しているという観点で行う必要がないため番号確認のみ行います。

※代理人がマイナンバーが記載された届出・申請書を提出される際には、①代理権(委任状等)、②代理人の身元、③本人の個人番号を確認させていただきます。

#### 6 マイナンバーに関する情報・問い合わせ先

当組合におけるこれまでのマイナンバー制度への対応についてのお知らせは当組合のウェブサイトをご覧ください。(ホームページ左端「Information」欄に記載)

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

また、マイナンバーに関する詳細な情報は「社会保障・税番号制度(内閣官房)のホームページ」をご覧ください。(ホームページ内にあるFAQ(よくある質問)もご活用ください。)

<http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/>

マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178

平日 9:30~22:00

土日祝 9:30~17:30(年末年始を除く)

宮崎県医師国民健康保険組合  
電話0985-22-6588

## 医師国保組合だより

宮崎県医師国保組合員の皆様へ

### 第20回歩こう会について(予告)

保健事業の一環として、毎年恒例の「歩こう会」を実施します。  
今年度は、第20回の記念として「歩こう会」の前日にヘルシー料理コースでの懇親会を企画いたしました。  
◎詳細については、後日、組合員宛にお知らせしますので、その際にお申込みください。

- 日 時 平成28年3月19日(土)～20日(日)  
※19日に懇親会、20日に歩こう会を実施します。  
歩こう会のみ参加も可能です。  
ご宿泊のご希望についても受付ける予定です。(自己負担があります)
- 場 所 フェニックス・シーガイア・リゾート(宮崎市)

### 1月のベストセラー(宮崎県)

集計：2016年1月1日～1月25日

- |    |              |         |           |
|----|--------------|---------|-----------|
| 1  | 旅立ノ朝 竹屋ノ渡    | 佐 伯 泰 英 | 双 葉 社     |
| 2  | 置かれた場所で咲きなさい | 渡 辺 和 子 | 幻 冬 舎     |
| 3  | 火花           | 又 吉 直 樹 | 文 藝 春 秋   |
| 4  | ヤバイ心理学       |         | 日 本 文 芸 社 |
| 5  | 望郷           | 湊 かなえ   | 文 藝 春 秋   |
| 6  | 本音で生きる       | 堀 江 貴 文 | SBクリエイティブ |
| 7  | 君の臓腑をたべたい    | 佐 野 よ る | 双 葉 社     |
| 8  | 嫌われる勇氣       | 岸 見 一 郎 | ダイヤモンド社   |
| 9  | ストーリー・セラー    | 有 川 浩   | 幻 冬 舎     |
| 10 | 下町ロケット②      | 池 井 戸 潤 | 小 学 館     |

毎年全面新訂。信頼と実績の治療年鑑



# 今日の治療指針

TODAY'S THERAPY 2016

私はこう治療している

監修 山口 徹 / 北原光夫

総編集 福井次矢 / 高木 誠 / 小室一成

好評  
発売中

### 2016年版の特長

- 「同種薬の特徴と使い分け」を新設。降圧薬や糖尿病治療薬等、多くの同種薬につき、最適な薬剤の選択に有用。
- 電子版限定コンテンツとして、新たに「エビデンス」を追加。

### 本書の特長

- 日常臨床で遭遇するほぼすべての疾患・病態に対する治療法が、この1冊に
- 大好評の付録「診療ガイドライン」：診療ガイドラインのエッセンスと利用上の注意点を簡潔に解説

● デスク判 (B5) 頁2116 定価：本体19,000円+税  
[ISBN978-4-260-02392-4]

● ポケット判 (B6) 頁2116 定価：本体15,000円+税  
[ISBN978-4-260-02393-1]

添付文書を網羅。圧倒的な量の情報を、書籍・電子の両方で提供



## 治療薬マニュアル 2016

監修 高久史磨 / 矢崎義雄 編集 北原光夫 / 上野文昭 / 越前宏俊

ハンディサイズで「使用上の注意」をカバーした唯一の治療薬年鑑

- 収録薬剤数は約2,300成分・18,000品目。2015年に収載された新薬を含むほぼすべての医薬品情報を収載。
- 添付文書に記載された情報を分かりやすく整理し、各領域の専門医による臨床解説を追加。
- 医薬品レファレンスブックとして、医師・薬剤師・看護師ほかすべての医療職必携の1冊。

● B6 頁2824 2016年 定価：本体5,000円+税 [ISBN978-4-260-02407-5]

- ☑ 両書籍とも  
購入特典・電子版付
- ☑ セット購入により、  
電子版で2冊がリンク

「今日の治療指針」に掲載された薬剤の詳細情報を、「治療薬マニュアル」電子版で瞬時に参照できます。

※ 電子版は、本書を購入された方が無料で利用できるサービスです。電子版単体のお申し込み・ご購入はできません。

※ 閲覧期間は2017年1月までとなります。

※ 2016年1月からご覧いただけるデータは、両書籍とも2015年版のもので、2016年版のデータをご覧いただけるようになるのは、2016年4月の予定です。



※画面は作成中のものです。



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

【販売部】TEL: 03-3817-5657 FAX: 03-3815-7804

E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp http://www.igaku-shoin.co.jp 振替: 00170-9-96693

携帯サイトはこちら



## 日医インターネットニュースから

### ■女性医師が6万人突破、全体の20%超 — 14年厚労省調査 —

厚生労働省は12月17日、2014年医師・歯科医師・薬剤師調査の結果を公表した。女性医師数は初めて6万人を超え、全医師数に占める女性の割合も初めて20%を突破した。

全医師数は31万1,205人で前回調査時(12年)と比べ2.6%増。このうち女性医師は6万3,504人で前回は6.5%増だった。男性医師は24万7,701人で前回は1.7%増。全医師数に占める女性医師の割合は20.4%だった。女性医師の割合は、29歳以下で34.8%、30歳代で31.1%など、年齢階級が低くなるにつれ高まっている。

医療施設(病院・診療所)に従事する医師は全医師数の95.4%に当たる29万6,845人。病院(医療機関付属病院を除く)の勤務者は13万7,321人(前回は3.6%増)、診療所の従事者は10万1,884人(1.3%増)。年齢階級別に見ると、30歳代、40歳代は前回と比べて減少していた。70歳以上の医師は2万6,725人(前回は1.3%増)だった。

### ●人口10万当たりは233.6人

医療施設に従事する人口10万人当たりの医師数を見ると、全国平均では233.6人で前回より7.1人増加している。都道府県別では、京都が最も多く307.9人で、東京の304.5人、徳島の303.3人が続いた。最少は埼玉の152.8人で、茨城の169.6人、千葉の182.9人が続いた。最多の京都と最少の埼玉の差は、いずれも医師数自体は増加しているものの人口増減などの影響で前回よりやや拡大した。

主たる診療科は「小児科」が1万6,758人(2.6%増)、「産婦人科・産科」1万1,085人(2.0%増)などが増加した一方、「外科」は微減した。

(平成27年12月22日)

### ■医療事故、昨年12月の報告は36件 — 安全調査機構 —

医療事故調査制度の「医療事故調査・支援センター」に指定されている日本医療安全調査機構は1月8日、2015年12月の医療事故報告状況を公表した。15年12月の報告件数は36件で、15年10月の制度開始からの累計報告件数は81件となった。

12月の医療事故報告は病院から32件、診療所から4件あった。診療科別では内科と外科が各6件、心臓血管外科と精神科が各4件、循環器内科と整形外科が各3件など。地域別では関東信越が13件、近畿が8件、東海北陸5件、九州4件のほか、北海道、東北、中国四国が各2件だった。

制度開始後3か月間の累計を診療科別に見ると、外科が14件、内科が13件、産婦人科が8件、精神科と脳神経外科が各6件など。地域別では、関東信越33件、近畿17件、東海北陸10件、九州9件、北海道5件、中国四国4件、東北3件だった。

同機構に寄せられた15年12月の相談件数は187件だった。相談内容の内訳(重複あり)は「医療事故報告の判断」が45件、「医療事故報告の手続き」が67件、「院内調査」が46件など。院内調査の報告は6件あり、同機構による調査依頼はなかった。  
(平成28年1月15日)

### ■次世代医療ICT基盤協、検討本格化へ — 内閣官房 —

内閣官房の「次世代医療ICT基盤協議会」は、医療分野でのICT活用に向けた課題ごとの議論を本格化させる。厚生労働省などと連携しながら個別の検討課題に対応した約20のワーキンググループ(WG)を動かす方針。今後、必要に応じて新たなWGの設置や、複数WGの統合も検討する。

約20のWGは大きく4つのテーマに整理する方向で調整中。具体的なテーマには、▽デジタルデータ収集・交換に係る標準化などを通じた既存のDB事業の拡充・連結などに向けた整備▽医療分野の情報を取り扱う代理機関(仮称)制度の具体化などの環境整備▽医療情報の収集・利活用の検討▽医療分野へのICT導入促進一が挙げられている。WG数が最も多くなるのは「医療情報の収集・利活用の検討」になる見込みだ。

### ●代理機関の具体化WGは近く始動

代理機関の具体化など環境整備の検討を担うWGについては、始動に向けた最終調整に入った。近日中に構成員を決定し公表する見通し。

構成員は、日本医師会や日本薬剤師会の代表者に加え、代理機関を念頭に置いた事業などに

取り組む関係者らで構成する方針だ。  
(平成28年1月19日)

## ■日医会員数、過去最高の16万7,029人 — 3年連続で増加 —

日本医師会会員数調査がこのほどまとまり、2015年12月1日現在の会員数は16万7,029人で、昨年同時期の調査から908人増え、記録が残る戦後以降で最高になったことが分かった。増加は3年連続で、前年調査から900人以上増えたのは8年ぶり。病院や診療所などの開設者らが該当する「A1会員」は8万3,604人(構成割合50.1%)で161人減少したものの、勤務医、研修医の伸びが会員数を押し上げた。

「A1会員」以外の会員数は、医師賠償責任保険加入の勤務医「A2会員(B)」が3万8,493人(23.0%)で81人増えたほか、医賠償加入の研修医「A2会員(C)」が846人(0.5%)で29人増、医賠償に未加入の勤務医「B会員」は4万2,510人(25.5%)で271人増、同じく未加入の研修医「C会員」は1,576人(0.9%)で688人増と、軒並み増加した。「A2会員(B)」と「B会員」を合わせた勤務医の会員数は8万1,003人(48.5%)に上り、初めて8万1,000人台に乗せた。「A1会員」の減少を勤務医、研修医の加入が補う傾向が続いている。

都道府県医師会別の会員数を見ると、増加したのは福岡県(245人増)、埼玉県(177人増)、栃木県(86人増)など26道県。減少したのは東京都(59人減)、大阪府(57人減)、高知県(40人減)など21都府県だった。

今回の調査により、会員数に応じて割り振る日医代議員数は神奈川県、愛知県、福岡県、熊本県がそれぞれ1人増え、359人から4人増の363人になる。

日医は組織力強化を活動の柱に据え、研修医の会費無料化を決めるなど強化策を打ち出してきた。今回の調査結果について、今村聡副会長は「日医を挙げて進めてきた取組みが形に表れた」と分析。「組織強化は地道な活動が求めら

れ、今後もこの基調が続くような努力が必要だ。ここからがスタートだと思っている」と述べた。日医の医師会組織強化検討委員会がまとめた今後の短期、中長期の対策について「粛々と取り組んでいきたい」と説明した。

日医会員数は都道府県医会員数より約1万6,000人少なく、都道府県医会員数は地区医師会会員数より約1万1,000人少ない。今村副会長はこの差を縮める取組みが重要との認識を示し、都道府県医に対して日医未加入の医師会員に加入を呼び掛ける協力要請を行ったことなどの取組みを紹介。「都道府県医師会などに継続した協力要請を行うとともに、会費を無料化したC会員(研修医)の加入促進のために、医師会入会のメリットなどを紹介するツールを作成し、都道府県医師会、郡市区等医師会に提供したい」と述べた。

(平成28年1月22日)

## ■がんの10年生存率全部位全病期では58% — 国立がん研が初公開 —

国立がん研究センターの研究班は1月20日、全国がん(成人病)センター協議会(全がん協)加盟施設の診断・治療症例から算出した10年相対生存率を全がん協のホームページで初めて公開した。全部位全病期の10年相対生存率は58.2%だった。

10年相対生存率は、全がん協加盟の16施設で1999～2002年の4年間に診断・治療した計3万5287症例を対象に算出。部位別にⅠ～Ⅳの病期別▽全症例▽手術症例一の症例数と生存率を算出した。このほか、「手術率」「病期判明率」「追跡率」も示した。

### ●最高は「甲状腺がん」最低は「膵がん」

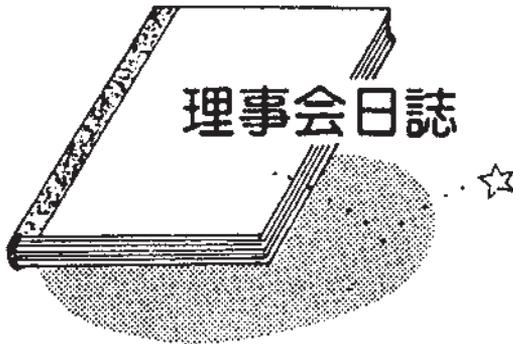
全症例の生存率は「甲状腺」(90.9%)が最も高く、「前立腺」(84.4%)、「子宮体」(83.1%)、「乳」(80.4%)、「子宮頸」(73.6%)などが続いた。一方、低かったのは「膵」(4.9%)、「肝」(15.3%)、「胆のう胆道」(19.7%)、「食道」(29.7%)などとなっている。(平成28年1月22日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます(毎週火・金更新)。

日本医師会(<http://www.med.or.jp/>)>メンバーズルーム>日医インターネットニュース  
メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザID: 会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角)

◆パスワード: 生年月日の「西暦の下2桁, 月2桁, 日2桁」の6桁の数字(半角)



平成27年12月8日(火)第22回常任理事協議会

## 医師会関係

### (議決事項)

#### 1. 本会外の役員等の推薦について

- ①日本赤十字社宮崎県支部評議員について  
→任期満了に伴い、引き続き河野会長に評議員をお願いしたいという依頼で、日本赤十字社宮崎県支部長選出評議員として、河野会長が就任することを承認した。

#### 2. 平成28年2/7(日)(県看護等研修センター)平成27年度宮崎県リスクマネジャー交流会の講師について

「医療事故調査制度 医療事故調査等支援団体の役割と医療機関が制度上の注意すべきポイント」をテーマに開催する交流会で、濱田副会長を講師として派遣することが承認された。

#### 3. 平成28年1/26(火)(県医)各郡市医師会長協議会の開催について

都道府県医師会長協議会(1/19)の報告を中心に開催する協議会で、当日のスケジュール等の確認が行われ、郡市医師会に会期を案内すると共に提出議題等を照会することが承認された。

#### 4. 高齢運転者の交通事故防止対策に関するご協力をお願いについて

10月末に発生したてんかんを有する高齢者が起こした事故及び高齢者の死亡事故が増加傾向にあることから、県警本部から事故防止対策への協力依頼があり、県医師会として、医療機関でのポスター掲示及び運転適性相談窓口の周知活動等に協力することが承認された。

#### 5. 12/15(火)(県医)県地域医療・福祉推進協議会代表者会について

当日の出席者及びスケジュール等の確認が行われ、国民医療推進協議会等を参考に作成された決議(案)を、議題として代表者会に提出することが承認された。

#### 6. 平成28年1/17(日)(日医)「平成27年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会」都道府県医師会へのご案内について

地域の在宅医療推進活動におけるアドバイザーを育成する研修会で、各郡市医師会等に参加者を募ることが承認された。

#### 7. 平成28年2/7(日)(国立成育医療研究センター)平成27年度小児等在宅医療地域コア人材養成講習会における受講者の推薦について

地域における小児等在宅医療の人材育成を支援するために開催される講習会で、受講者の人選等に協力することが承認された。

#### 8. 業務委託について

- ①平成27年度認知症サポート医スキルアップ事業の委託について  
→主に認知症サポート医のフォローアップ研修と連絡協議会の設置を行う事業で、委託契約を締結することが承認された。

### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 12/2(木)(ホテル中山荘)都城市北諸県郡医師会忘年会について
3. 12/2(木)(県医)都道府県医師会医療廃棄物担当理事連絡協議会について

4. 12/5(出)(県医)マイナンバー制度説明会について
5. 12/3(木)(県医)自殺対策うつ病研修会について
6. 12/4(金)(県医)高次脳機能障がい講演会について
7. 12/2(水)(県医)広報委員会(宮崎の医療を考える会リハーサル)について
8. 12/3(木)(ポチロン)広報委員会について
9. 12/7(月)(県医)生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
10. 12/3(木)(日医)都道府県医師会生涯教育担当理事・日医かかりつけ医機能研修制度担当理事合同連絡協議会について
11. 12/4(金)(県医)地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議について
12. 12/5(土)(愛媛)全国学校保健・学校医大会について

#### 医師連盟関係

##### (報告事項)

1. 12/6(日)(シーガイア)参議院議員松下新平国政報告会について

#### 平成27年12月15日(火)第23回常任理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 後援・共催名義等使用許可について
  - ①平成28年2/3(水)(シーガイア)宮崎県民生委員児童委員大会に対する後援名義の使用許可について
 

→誰もが安心して住み続けることができる地域社会づくりに向け、民生委員活動の充実等を図ることを目的に開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。
  - ②平成28年2/11(木・祝日)(JA-AZM)宮崎県介護支援専門員協会研究大会の名義後援

について

→「高めよう！今こそケアマネジャーの力を」をテーマに開催される研究大会で、名義後援を行うことが承認された。

2. 平成28年3/12(土)(福岡)九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会の開催について

医師資格証カードの普及及び医療情報システムに関する各県の問題点等を協議する連絡協議会で、吉田常任理事の出席が承認された。

3. 九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会いについて

1 医療機関を対象に行われる個別指導で、金丸常任理事を立会人として派遣することが承認された。

4. 業務委託について

①平成27年度医師養成・確保支援事業に関する業務委託契約の一部変更について  
→医学生等の教育を目的とした救急医療研修事業及び研修医のキャリア支援を目的とした臨床研修後援会事業を、新たに追加して契約することが承認された。

##### (報告事項)

1. 週間報告について
2. 12/10(木)(ホテルメリージュ延岡)延岡市医師会員忘年会について
3. 12/14(月)(みなと屋)西都市西児湯医師会忘年会について
4. 12/12(土)(宮観ホテル)診療報酬に関する税制講演会について
5. 12/13(日)(ハイビスカスG.C.)宮崎銀行ゴルフコンペについて
6. 12/10(木)(日医)都道府県医師会医事紛争担当理事連絡協議会について
7. 12/10(木)(県医)広報委員会(宮崎の医療を考える会)について

8. 12/14(月)(県医)広報委員会について
9. 12/10(木)(県医)生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
10. 12/11(金)(県医)全国がん登録説明会について
11. 12/9(水)(東京)国民医療を守るための総決起大会について
12. 12/14(月)(小林保健所)西諸地域医療構想調整会議について
13. 12/15(火)(県医)県地域医療・福祉推進協議会代表者会について
14. 12/14(月)(県医)在宅医療研修会企画小委員会について
15. 12/13(日)(福岡)eレジフェアについて
16. 12/14(月)(県医)平成28年度学校健診についての打合せ会について

#### 医師連盟関係

##### (報告事項)

1. 12/9(水)(東京)国民医療を守る議員の会について

平成27年12月22日(火)第11回全理事協議会

#### 医師会関係

##### (議決事項)

1. 県立宮崎病院の第一種感染症指定医療機関の指定に伴う公益社団法人宮崎県医師会への後方支援依頼について  
 県立宮崎病院が、第一種感染症指定医療機関の指定を目指していることから、有事の際の協力依頼があり、県立宮崎病院が通院患者の受入れを中止した際の対応等を含め、後方支援に協力することが承認された。
2. 業務委託について
  - ①妊娠等について悩まれている方のための相談援助業務の委託契約について  
 →児童虐待未然防止を目的として、リーフレットの配布や養護教諭のための性教育研

修会等を実施する事業で、契約を締結することが承認された。

#### 3. 後援・共催名義等使用許可について

- ①平成28年2/25(木)全国巡回がんセミナー名義後援について

→検診等の重要性を発信することによって、受診へと繋げることを目的に開催される全国持ち回りのセミナーで、名義後援を行うことが承認された。

#### 4. 平成28年2/6(土)(長崎)「九州医師会連合会平成27年度第2回各種協議会」等の提案事項に対する回答について

九医連の担当理事連絡協議会及び各種協議会の提案事項に対する回答依頼があり、医療事故調査制度は濱田副会長、救急・災害医療は富田副会長、地域医療は池井常任理事、医療保険は小牧常任理事、介護保険は金丸常任理事が責任者として取りまとめを行い回答することが承認された。

#### 5. 地域医療介護総合確保基金「テレビ会議システムを利用した研修体制構築事業」について

県内全域の医療・介護従事者が多職種連携に係る様々な研修を日常的に受講できるよう、県医師会と郡市医師会を同時に繋ぐテレビ会議システムを構築すべく準備を進めることが承認された。

#### 6. 平成28年1/14(木)(JA-AZM)新規集団指導(医科)の実施について

14医療機関を対象とする新規集団指導の後、県医師会主催で「指導・監査」、「県医師会の活動」等をテーマに、説明会を開催することが承認された。

#### 7. 宮崎県感染症発生動向調査事業における指定届出機関の推薦について

延岡保健所管内で内科を標榜する1医療機関の辞退申し出があったことから、新たに大貫診療所を推薦することが承認された。

8. 平成27年度臨床検査精度管理調査報告会の開催について  
調査結果の分析・検討を行うことによって参加施設の質的向上を目的に開催される報告会で、県臨床検査技師会に人選をお願いし派遣することが承認された。
9. 第29回宮崎県医師会医学賞の推薦について  
県医師会医学賞選考委員会から推薦された「当院における人工股関節置換術の検討」柏木輝行先生他(県医師会医学会誌第38巻第2号)を医学賞とすることが承認された。
10. 1・2月の行事予定について  
1月の追加行事について確認が行われた。
11. その他  
①理事の辞任について  
→上田理事が、12月31日付で、本人の意向により県医師会理事を辞任することが承認された。  
(報告事項)
1. 週間報告について
2. 12/21(月)(県庁)県がん対策審議会について
3. 12/16(水)(日医)日医地域医療対策委員会について
4. 12/21(月)(日医)日医医療秘書認定試験委員会について
5. 12/20(日)(東京)健康経営シンポジウムについて
6. 12/16(水)(県庁)DV被害者保護支援ネットワーク会議について
7. 12/18(金)(日医)日医大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会について
8. 12/18(金)(県医)地域医療構想データ検討会について
9. 12/19(土)(県医)生活習慣病検診従事者研修会(肺・乳・胃・大腸がん検診研修会)について
10. 12/21(月)(延岡保健所)延岡西臼杵地域医療構想調整会議について
11. 12/17(木)(都城)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
12. 12/19(土)・20(日)(シーガイア)指導医のための教育ワークショップについて
13. 11/19(木)(延岡)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
14. 11/26(木)(ひまわり荘)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
15. 12/7(月)(県医)医学賞選考委員会について
16. 11/26(木)(日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会について
17. 12/14(月)(県医)感染症危機管理予防接種実務担当者研修会について
18. 11/25(水)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
19. 12/22(火)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
20. 12/6(日)(東京)全国有床診療所連絡協議会役員会について
21. 12/21(月)(県医)医師会立看護学校担当理事連絡協議会について  
医師協同組合理事・運営委員合同協議会  
(報告事項)
1. 12/22(火)(宮観ホテル)医協理事・運営委員合同協議会について  
医師連盟関係  
(議決事項)
1. 一般財団法人国民政治協会への協力について  
自由民主党指定の政治資金団体ではあるが、活動内容等が分からない点も多いため、九州各県医師連盟及び日本医師連盟の協力状況等を調査した上で、再度次回の役員会で協議することとなった。

## 平成28年1月5日(火)第24回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 厚生功労に係る平成28年秋の叙勲候補者の推薦について

各都市医師会に照会の結果、1名の申請があり、県医師会として推薦することが承認された。

## 2. 学校保健功労に係る平成28年秋の叙勲候補者の推薦について

既に推薦を行っていた候補者から申請辞退の申し出があったことから、再検討の結果、宮崎市郡医師会から申請のあった候補者を推薦することが承認された。

## 3. 社保審査委員の推薦について

上田章先生の辞任に伴い、後任の審査委員に県立宮崎病院の山中篤志先生を推薦することが承認された。

## 4. 1/28(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施に係る立会いについて

3医療機関を対象に行われる個別指導で、川野理事を立会人として派遣することが承認された。

## 5. 生活情報誌「きゅんと」への寄稿文のお願いについて

「きゅんと」は、毎月2回、主に既婚女性とファミリー層を対象に発刊している情報誌で、「HEALTH(健康)欄」への寄稿依頼があり、例年通り健康教育の一環として協力することが承認された。

## 6. 2/26(金)(日医)平成27年度女性医師支援事業連絡協議会の開催について

ブロック別会議の発表や都道府県医師会の先進的な取組みを紹介する協議会で、荒木常任理事及び糸数理事が出席することが承認さ

れた。

## 7. 2/21(日)(日医)平成27年度学校保健講習会及び2/27(土)(日医)母子保健講習会の開催について

地域医療の一環として保健活動を円滑に行うために開催される講習会で、学校保健講習会に高村常任理事、母子保健講習会に濱田副会長が出席することが承認された。

## (報告事項)

## 1. 週間報告について

## 2. 12月末日現在の会員数について

## 3. 12/27(日)(福岡)横倉弘吉先生(日医横倉会長ご尊父)お別れの会について

## 4. 1/4(月)(宮観ホテル)新年賀詞交歓会について

## 5. 12/24(木)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について

## 6. マイナンバー制度に基づく個人番号の提供のお願いについて

## 7. 12/24(木)(日医)日医医療IT委員会について

## 8. 12/22(火)(宮観ホテル)治験審査委員会について

## 9. 1/5(火)(県医)治験審査委員会について

## 10. 12/25(金)(県医)平成28年度学校健診についての打合せ会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

## 1. 一般財団法人国民政治協会への協力について

九州各県医師連盟及び日本医師連盟の対応を考慮した上で協力を行うことが承認された。

## 2. 1/9(土)(宮観ホテル)県医師連盟執行委員会について

当日の進行及び役割分担の最終確認が行われた。

## 平成28年1月12日(火)第25回常任理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 1/28(木)(日医)平成27年度第2回都道府県医師会税制担当理事連絡協議会開催について  
消費税増税(10%)に係る対応等の情報を共有すべく開催される担当理事協議会で、立元常任理事が参加することが承認された。
2. 2/19(金)(東京)医療関連サービス振興会「第25回シンポジウム」のご案内について  
地域医療構想の策定と医療関連サービス～治す医療から支える医療への転換を目指して～をテーマに開催されるシンポジウムで、当日役員の参加が叶わないことから、資料等の入手について依頼することとなった。
3. 2/25(火)(県医)県医師会創立127周年記念医学学会について  
当日のスケジュール確認が行われ、司会を立元常任理事、医学賞の表彰を小牧常任理事が担当すること及び特別講演の講師を宮崎大学の池ノ上学長、座長を河野会長が務めること等が承認された。
4. 3/6(日)(日医)平成27年度都道府県医師会「警察活動に協力する医師の部会(仮称)」連絡協議会・学術大会の開催について  
関係省庁との情報共有と相互連携等を図ることを目的に開催される連絡協議会等で、立元常任理事及び県警察医会の大塚直純会長が出席することが承認された。
5. 宮崎県民の健康づくりの推進に向けた包括的連携に関する協定締結について  
県民の健康増進に資することを目的に、相互に連携した取組みを進めるもので、健康寿命の延伸を目指して協定を締結することが承認された。
6. 日本准看護師連絡協議会設立及び賛助会員募集について

准看護師養成制度の存続及び能力向上のために設立された協議会で、県医師会として賛助会員になることが承認された。また、募集活動に協力するため各郡市医師会及び各医療機関に案内することとなった。

7. 平成28年九州各県花粉情報の観測について  
例年通り1/31～4/30までの間(報道期間は2/1～4/15)、花粉検索器を宮崎、都城、延岡の3か所に設置し、関係機関と共に花粉観測に協力することが承認された。
8. 県立学校医(内科医)の複数委嘱等について  
生徒数が480名を超える学校を対象として、内科医2名の委嘱を可能とすること及び全ての学校を対象に、学校医以外の医師の協力を得て健康診断を実施することを可能とするもので、基準の統一化を承認することとなった。

## (報告事項)

1. 週間報告について
2. 1/6(水)(宮観ホテル)病院部会・医療法人部会合同新年会について
3. 1/11(月)(広島)広島県医師会新会館内覧会・竣工記念祝賀会並びに新年互礼会について
4. 1/8(金)(県医)女性医師保育支援講座について
5. 1/7(木)(宮崎市)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について
6. 1/8(金)(日医)日医勤務医委員会について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

1. 1/6(水)(宮観ホテル)公明党新春の集いについて
2. 1/10(日)(ニューウェルシティ宮崎)河野知事との懇談会について
3. 1/9(土)(宮観ホテル)県医連臨時執行委員会について
4. 1/9(土)(宮観ホテル)三師会合同新春懇談会について

# 県 医 の 動 き

(1月)

|    |                                                                                                     |    |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 1  | (年始休業)                                                                                              |    |
| 2  | (年始休業)                                                                                              |    |
| 3  | (年始休業)                                                                                              |    |
| 4  | 仕事始め式(会長)<br>新年賀詞交歓会(会長他)                                                                           | 19 |
| 5  | 治験審査委員会(富田副会長)<br>第24回常任理事協議会(会長他)                                                                  | 19 |
| 6  | 公明党新春の集い(河野委員長)<br>病院部会・医療法人部会合同理事会並びに新年会(会長他)                                                      | 19 |
| 7  | 社会保険医療担当者(医科)の個別指導<br>(金丸常任理事)<br>産業医研修会(実地)                                                        | 19 |
| 8  | 女性医師保育支援講座<br>(日医)日医勤務医委員会(金丸常任理事)                                                                  | 20 |
| 9  | 県医連臨時執行委員会(河野委員長他)<br>三師会合同新春懇談会                                                                    | 20 |
| 10 | 河野知事との懇談会(会長)                                                                                       | 20 |
| 11 | (広島)広島県医師会新会館内覧会・竣工記念<br>祝賀会並びに新年互礼会(会長)                                                            | 21 |
| 12 | 第25回常任理事協議会(会長他)                                                                                    | 21 |
| 13 | 女性医師保育支援講座<br>支払基金幹事会(会長)                                                                           | 21 |
| 14 | 社会保険医療担当者(医科)の新規集団指導<br>県内科医会学術委員会(小牧常任理事)<br>医師国保組合理事会<br>県産婦人科医会常任理事会(鮫島理事)<br>新規保険医療機関への説明会(会長他) | 22 |
| 15 | 県蚊媒介感染症対策会議(峰松理事)<br>宮崎市郡医師会新年例会並びにしののめ医学会<br>特別講演会(会長)<br>広報委員会(荒木常任理事他)                           | 22 |
| 16 | 保育支援事業全体顔合わせ会(荒木常任理事他)<br>産業医研修会(TV会議)(佐々木常任理事)<br>情報システム小委員会(富田副会長他)                               | 23 |
| 17 | (日医)在宅医療関連講師人材養成事業研修会<br>(牛谷常任理事)                                                                   | 23 |
| 18 | 医師国保組合定例事務監査(秦理事長他)                                                                                 | 24 |
|    |                                                                                                     | 24 |
|    |                                                                                                     | 25 |
|    |                                                                                                     | 26 |
|    |                                                                                                     | 27 |
|    |                                                                                                     | 28 |
|    |                                                                                                     | 29 |
|    |                                                                                                     | 30 |
|    |                                                                                                     | 31 |

## 追悼のことば

延岡市医師会

まつ ぎき たけ とし  
松 崎 武 壽 先生

(昭和5年10月26日生 85歳)

## 弔 辞

ここに、今は亡き松崎武壽先生のご葬儀が執り行われるにあたり、延岡市医師会を代表いたしまして、謹んで哀悼の意を表し、お別れの言葉を申し上げます。先生は少し体調を崩されておられましたが、比較的にお元気でおられ、亡くなる前日まで診療に従事されておられましたところ、9日の早朝、急にお亡くなりになったとの知らせに驚き、そして今は、私共医師会の重鎮ともいべき先生を、失った悲しみとさみしさで申し上げる言葉もございません。



ましてや、奥様の寿子先生をはじめ、ご家族、先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは如何ばかりかとお察し申し上げ、衷心よりお悔やみ申し上げます。

先生は、昭和5年10月26日、熊本県は上益城郡御船町のご出身であり、昭和30年、熊本大学医学部をご卒業され、その後、熊本大学医学部附属病院の勤務、同大学の大学院を経まして、化血研附属病院などのご勤務をされておられました。

昭和38年には、延岡の地へ参られ、谷村病院院長としてご勤務になり、その後、地域住民の切なる希望にお応えになられ、延岡市の昭和町に松崎医院をご開業し、奥様の寿子先生とご一緒に、昼夜を問わず献身的な診療に携わってこられました。

先生は、温厚かつ誠実なお人柄であり、患者さんの信頼も厚く、地域住民の健康管理、保健衛生の指導に尽力しながら、公衆衛生、地域医療について深い関心と信念を持ち延岡の代表的な内科医として絶大なる信頼と尊敬を受けてお

られました。

先生はご多忙な診療の傍ら、昭和46年から2年間、延岡市医師会理事となられました。

先生のこれまでの功績として平成15年に救急医療事業功労、平成17年には学校保健・学校医安全に関する宮崎県知事表彰をお受けになられております。

さらには、地域医療に従事しながら、ご趣味である写真にも力をいれられ、昭和55年には当医師会に「延岡医人カメラクラブ」を結成し、会員の写真のレベル向上にも寄与されました。個人的に先生は、数々の美術展に出展、写真集の自費出版など、多数の輝かしい実績、さまざまな荣誉ある賞を授与されるなど、延岡市の文化功労にも大きく貢献しておられます。

このような延岡市医師会歴史の創設者の一員としておられました先生がご逝去なさいましたことは、会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり、痛恨の極みであります。

先生にはまだまだ遣り残したことがたくさんおありのことと存じますが、先生も生前からご覧のように、ご令嬢の文先生ご夫妻がこのように立派にご活躍中であり、今後も医師として先生のご遺志に添って必ずや地域医療のために貢献されますものと信じております。

本日、先生とお別れするにあたり、先生がこれまで地域医療に尽くしてこられたご功績を忘れることなく、会員一同、地域医療の発展向上に一層の努力をして行く所存でございます。

先生の温顔に再び接することはできませんが、ご家族をはじめ、ご遺族の皆様のご安泰をお見守りいただきますようお願い申し上げます。黄泉路が平穏でありますことを心よりお祈りし、お別れの言葉といたします。

松崎武壽先生、どうぞ安らかに眠りください。

平成28年1月11日

延岡市医師会

会長 吉 田 建 世

## ニューメンバー

新入会員と新規開業会員をご紹介します。

三股町  
山下医院

こおり やま はる き  
郡 山 晴 喜



**住 所** 宮崎市  
**専門科目** 呼吸器内科  
**家族構成** 妻、長男(2歳)、  
長女(1歳)

**略 歴**  
昭和59年 三股町・山下医院生まれ  
平成14年 渋谷教育学園幕張高校  
(千葉県)卒業  
平成20年 宮崎大学医学部卒業  
同 年 宮崎大学医学部附属病院に  
て初期研修  
平成22年 宮崎大学第3内科入局  
平成25年 国立がん研究センター  
東病院レジデント  
平成28年 山下医院開院

**自己紹介** 急逝した叔父・山下兼一  
の後を継ぎ、平成28年1月に山下医院  
を再開しました。これまでのように地  
域のかかりつけ医として、また新たに  
呼吸器内科医として、地域の医療に貢  
献したいと考えています。医師として  
まだ経験が浅く医師会の方々にご迷惑  
をお掛けすることもあるかと思いま  
すが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよ  
ろしくお願いします。

## 宮崎県医師会医療情報コーナー

県医師会館1階の「医療情報コーナー」では、分かりやすい医療や介護の本、闘病記のほか、  
難病・認知症・健康増進や子育てに役立つ本・雑誌・DVDなどを幅広く取り揃えています。  
県民の皆様への貸出もしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。パソコン情報検索、  
ビデオ・DVDの視聴もできます。

開室時間：月～金曜日 10：00～19：00、土曜日 10：00～18：00

休館日：日曜・祝日、12月29日～1月3日、8月14～15日、特別整理期間(3日間)

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地  
TEL 0985-22-5118 E-mail : tosho@miyazaki.med.or.jp

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成28年1月15日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらしを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 4人

1) 男性医師求職登録数 4人 (人)

| 希望診療科目 | 求職数 | 常勤 | 非常勤 |
|--------|-----|----|-----|
| 内 科    | 3   | 3  | 0   |
| 外 科    | 1   | 1  | 0   |

2) 女性医師求職登録数 0人

2. 斡旋成立件数 51人 (人)

|            | 男性医師 | 女性医師 | 合計 |
|------------|------|------|----|
| 平成27年度     | 2    | 0    | 2  |
| 平成16年度から累計 | 37   | 14   | 51 |

3. 求人登録 92件 328人 (人)

| 募集診療科目     | 求人数 | 常勤  | 非常勤 |
|------------|-----|-----|-----|
| 内 科        | 110 | 82  | 28  |
| 外 科        | 28  | 24  | 4   |
| 整 形 外 科    | 25  | 22  | 3   |
| 精 神 科      | 19  | 17  | 2   |
| 循 環 器 科    | 8   | 7   | 1   |
| 脳 神 経 外 科  | 12  | 9   | 3   |
| 消 化 器 内 科  | 12  | 10  | 2   |
| 麻 酔 科      | 12  | 9   | 3   |
| 眼 科        | 6   | 5   | 1   |
| 放 射 線 科    | 10  | 9   | 1   |
| 小 児 科      | 1   | 0   | 1   |
| 呼 吸 器 内 科  | 10  | 9   | 1   |
| リハビリテーション科 | 6   | 5   | 1   |
| 総合診療科・内科   | 7   | 6   | 1   |
| 神 経 内 科    | 7   | 6   | 1   |
| 救 命 救 急 科  | 7   | 7   | —   |
| 健 診        | 3   | 1   | 2   |
| 産 婦 人 科    | 1   | 1   | —   |
| 泌 尿 器 科    | 1   | —   | 1   |
| 検 診        | 4   | 2   | 2   |
| 皮 膚 科      | 3   | 2   | 1   |
| 人 工 透 析    | 4   | 4   | —   |
| 在 宅 担 当 医  | 1   | 1   | —   |
| そ の 他      | 30  | 26  | 4   |
| 合 計        | 328 | 265 | 63  |

## 求人登録者(公開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

| 登録番号   | 施設名                        | 所在地 | 募集診療科                          | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|----------------------------|-----|--------------------------------|-----|--------|
| 160011 | 赤十字血液センター                  | 宮崎市 | 検診                             | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160013 | (医)三晴会 金丸脳神経外科病院           | 宮崎市 | 脳外,整,放,麻,内                     | 10  | 常勤・非常勤 |
| 160017 | (医)プレストピア プレストピア宮崎病院       | 宮崎市 | 乳外,放,内,麻                       | 3   | 常勤     |
| 160020 | (財)弘潤会 野崎病院                | 宮崎市 | 精,内                            | 2   | 常勤     |
| 160031 | (社医)同心会 古賀総合病院             | 宮崎市 | 呼,神内,眼,総診,呼外,<br>臨病,乳外,整外,麻酔   | 11  | 常勤     |
| 160033 | (医)如月会 若草病院                | 宮崎市 | 精                              | 2   | 常勤     |
| 170046 | (医)社団善仁会 市民の森病院            | 宮崎市 | 消内,内分泌内,呼,リウマチ,<br>神経内,健診      | 6   | 常勤・非常勤 |
| 170048 | (医)慶明会 けいめい記念病院            | 国富町 | 内,放,在宅医療                       | 3   | 常勤     |
| 180082 | 国立病院機構宮崎東病院                | 宮崎市 | 内,神内,整,消内                      | 5   | 常勤     |
| 190087 | 宮崎市郡医師会病院                  | 宮崎市 | 内(緩和ケア),消内,呼内,<br>総診           | 8   | 常勤     |
| 190094 | (医)耕和会 迫田病院                | 宮崎市 | 内,外,整                          | 8   | 常勤・非常勤 |
| 190095 | (医)慶明会 宮崎中央眼科病院            | 宮崎市 | 眼                              | 1   | 常勤     |
| 190096 | (医)晴緑会 宮崎医療センター病院          | 宮崎市 | 消化,麻,循,リハビリ                    | 5   | 常勤・非常勤 |
| 200104 | (医)社団善仁会 宮崎善仁会病院           | 宮崎市 | 内,外,救急,呼外,婦人,整,<br>麻           | 7   | 常勤     |
| 200105 | (医)誠友会 南部病院                | 宮崎市 | 内,外,放                          | 3   | 常勤     |
| 210110 | (医)幸秀会 大江整形外科病院            | 宮崎市 | 整                              | 1   | 常勤     |
| 210118 | 慈英病院                       | 宮崎市 | 内,整,リハビリ                       | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230128 | (医)真愛会 高宮病院                | 宮崎市 | 内,精                            | 2   | 常勤     |
| 230132 | (医)康友会 青島クリニック             | 宮崎市 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 230134 | (医)慈光会 宮崎若久病院              | 宮崎市 | 精                              | 1   | 常勤     |
| 230139 | 介護老人保健施設サンフローラみやざき         | 国富町 | 内,外                            | 2   | 常勤     |
| 230143 | (医)社団孝尋会 上田脳神経外科           | 宮崎市 | 脳外,内                           | 2   | 常勤     |
| 230144 | 宮崎生協病院                     | 宮崎市 | 総内,呼吸内,消化器内,<br>健診             | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230146 | (財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院 | 宮崎市 | 内,神内,外,整外,脳外,<br>リハ,麻酔,救急,緩和ケア | 10  | 常勤     |
| 230148 | (医)コムロ美容外科                 | 宮崎市 | 美外,形成外,外,麻酔                    | 8   | 常勤・非常勤 |
| 230161 | (医)建心会 滝口内科医院              | 宮崎市 | 内                              | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230164 | 宮崎県保健所                     | 宮崎市 | 公衆衛生                           | 3   | 常勤     |
| 230165 | 野崎病院健診センター                 | 宮崎市 | 健診                             | 1   | 非常勤    |
| 230171 | (医)いなほ会 日高医院               | 宮崎市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 230174 | (医)常聖会 巴外科内科               | 宮崎市 | 内                              | 1   | 非常勤    |
| 230175 | 社会福祉法人 キャンパスの会             | 宮崎市 | 内,小,整                          | 1   | 常勤     |
| 230177 | (医)社団尚成会 近間病院              | 宮崎市 | 内,消内,消外,放(いずれか)                | 1   | 常勤・非常勤 |
| 230178 | 介護老人保健施設 むつみ苑              | 宮崎市 | 内                              | 1   | 常勤     |
| 160008 | (医)正立会 黒松病院                | 都城市 | 泌                              | 1   | 非常勤    |
| 160010 | (特医)敬和会 戸嶋病院               | 都城市 | 内,消内,整,神内                      | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160018 | (医)宏仁会 メディカルシティ東部病院        | 都城市 | 内,救急,放射,脳外,外,<br>眼,透内,皮膚       | 8   | 常勤     |
| 170057 | (医)清陵会 隅病院                 | 都城市 | 内,外,整                          | 3   | 常勤     |
| 180064 | 国立病院機構都城医療センター             | 都城市 | 内,呼内,総合診療                      | 4   | 常勤     |
| 180081 | (医)恵心会 永田病院                | 都城市 | 精                              | 1   | 常勤     |
| 190092 | 都城市郡医師会病院                  | 都城市 | 内,呼                            | 6   | 常勤     |
| 210114 | 藤元病院                       | 都城市 | 精,内                            | 3   | 常勤     |
| 230127 | (医)倫生会 三州病院                | 都城市 | 外,内,整                          | 7   | 常勤・非常勤 |
| 230133 | 介護老人保健施設すこやか苑              | 都城市 | 不問                             | 1   | 常勤     |

| 登録番号   | 施設名                   | 所在地   | 募集診療科                     | 求人数 | 勤務形態   |
|--------|-----------------------|-------|---------------------------|-----|--------|
| 230137 | 医)宏仁会 海老原内科           | 都 城 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230142 | 医)魁成会 宮永病院            | 都 城 市 | 内,リハビリ                    | 2   | 常勤     |
| 230153 | 都城健康サービスセンター          | 都 城 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230157 | 医)一誠会 都城新生病院          | 都 城 市 | 精,内                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230162 | 藤元総合病院                | 都 城 市 | 内,透,循内,救急,放射,<br>病理,呼吸内,精 | 16  | 常勤     |
| 230172 | 医)静雄会 藤元上町病院          | 都 城 市 | 内                         | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230176 | 一社)藤元メディカルシステムグリーンホーム | 三 股 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 160012 | 医)伸和会 共立病院            | 延 岡 市 | 外,整,放,内                   | 6   | 常勤     |
| 160021 | 医)建悠会 吉田病院            | 延 岡 市 | 精                         | 3   | 常勤・非常勤 |
| 160034 | 特医)健寿会 黒木病院           | 延 岡 市 | 外,内,緩ケア                   | 6   | 常勤・非常勤 |
| 190086 | 早田病院                  | 延 岡 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 200100 | 医)育生会 井上病院            | 延 岡 市 | 産婦,内                      | 2   | 常勤     |
| 200102 | 延岡市医師会病院              | 延 岡 市 | 消内,消外,内                   | 5   | 常勤     |
| 210109 | 延岡市夜間急病センター           | 延 岡 市 | 内,小                       | 2   | 非常勤    |
| 230151 | 介護老人保健施設エクセルライフ       | 延 岡 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230156 | 医)中心会 野村病院            | 延 岡 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 230163 | 堺胃腸科内科クリニック           | 延 岡 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 160039 | 医)誠和会 和田病院            | 日 向 市 | 外,内,整,神内                  | 6   | 常勤     |
| 210111 | 宮崎県済生会 日向病院           | 門 川 町 | 内                         | 3   | 常勤     |
| 230147 | 美郷町国民健康保険西郷病院         | 美 郷 町 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 230152 | 美郷町国民健康保険南郷診療所        | 美 郷 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230160 | 日向市立東郷病院              | 日 向 市 | 内,整                       | 2   | 常勤     |
| 160006 | 都農町国保病院               | 都 農 町 | 内,放,外                     | 3   | 常勤     |
| 160023 | 医)宏仁会 海老原総合病院         | 高 鍋 町 | 整,内,総合診療,麻,眼,<br>健診,循,脳   | 10  | 常勤・非常勤 |
| 230170 | 介護老人保健施設なでしこ園         | 高 鍋 町 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 160024 | 医)隆徳会 鶴田病院            | 西 都 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 150002 | 医)慶明会 おび中央病院          | 日 南 市 | 内,外                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 150003 | 医)同仁会 谷口病院            | 日 南 市 | 精                         | 1   | 常勤     |
| 160022 | 医)愛鍼会 山元病院            | 日 南 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 160037 | 医)十善会 県南病院            | 串 間 市 | 精,内(いずれか)                 | 1   | 常勤     |
| 170047 | 日南市立中部病院              | 日 南 市 | 内,外,整,リハビリ,在宅診療           | 5   | 常勤     |
| 180071 | 串間市民病院                | 串 間 市 | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 230138 | 小玉共立外科                | 日 南 市 | 不問                        | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230149 | 介護老人保健施設おびの里          | 日 南 市 | 内                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 230166 | 医)秀英会 英医院             | 串 間 市 | 内                         | 1   | 常勤     |
| 230168 | 医)月陽会 きよひで内科クリニック     | 日 南 市 | 内                         | 7   | 常勤・非常勤 |
| 160019 | 医)相愛会 桑原記念病院          | 小 林 市 | 内,皮膚                      | 4   | 常勤・非常勤 |
| 170043 | 医)和芳会 小林中央眼科          | 小 林 市 | 眼                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 180067 | 小林市立病院                | 小 林 市 | 救急,総合診療,放                 | 5   | 常勤     |
| 180076 | 医)友愛会 園田病院            | 小 林 市 | 外,循内,整,脳外                 | 9   | 常勤・非常勤 |
| 190090 | 特医)浩然会 内村病院           | 小 林 市 | 精,内                       | 3   | 常勤     |
| 190091 | 医)友愛会 野尻中央病院          | 小 林 市 | 整,内                       | 4   | 常勤・非常勤 |
| 230155 | 医)三和会 池田病院            | 小 林 市 | 脳外,内,放射,外,リハビリ            | 6   | 常勤・非常勤 |
| 230167 | 介護老人保健施設さわやかセンター      | 小 林 市 | 内                         | 1   | 非常勤    |
| 230169 | 医)連理会 和田クリニック         | 小 林 市 | 内                         | 2   | 常勤     |
| 230173 | 医)高千穂会 大森内科           | 小 林 市 | 内                         | 2   | 常勤・非常勤 |
| 170049 | 五ヶ瀬町国民健康保険病院          | 五ヶ瀬町  | 内,外                       | 2   | 常勤     |
| 180070 | 高千穂町国保病院              | 高千穂町  | 内,透                       | 3   | 常勤     |
| 190088 | 日之影町国保病院              | 日之影町  | 内,整                       | 1   | 常勤     |

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡、賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成28年1月15日現在

|             |                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                     |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 譲渡物件     | <p>① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番, 2634番<br/>土地のみ：2022.17㎡(593.57坪)</p> <p>② 西都市中央町2丁目6番地<br/>土地：2,280.83㎡(691.16坪)<br/>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br/>1階 674.74㎡ } 1,400.48㎡(424.38坪)<br/>2階 547.79㎡ }<br/>3階 177.95㎡ }<br/>※別途駐車場あり(20台)</p> | <p>&lt;所有者：児湯医師会員<br/>(医)松雲会 林クリニック&gt;</p> <p>&lt;所有者：西都市西児湯医師会員<br/>図師医院跡&gt;</p> |
| 2. 譲渡又は賃貸物件 | <p>① 宮崎市永楽町223番3<br/>土地：661.18㎡(200.35坪)<br/>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建<br/>1階 446.78㎡ } 971.13㎡(294.28坪)<br/>2階 440.41㎡ }<br/>3階 83.94㎡ }<br/>※別途駐車場あり(16台)</p>                                                                   | <p>&lt;所有者：宮崎市郡医師会員&gt;<br/>&lt;(医)社団篤信会<br/>西村産婦人科跡&gt;</p>                        |
| 3. 経営譲渡     | <p>① 小林市南西方49番地1<br/>土地：1,991.34㎡(603.43坪)<br/>建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建<br/>1階 471.41㎡ } 1,109.76㎡(336.29坪)<br/>2階 638.35㎡ }<br/>※駐車場あり(30台)</p>                                                                                 | <p>&lt;所有者：西諸医師会員&gt;<br/>&lt;(医)社団 産婦人科<br/>生駒クリニック&gt;</p>                        |

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し、求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は、月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は、所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は、「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

### ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地(宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyouto@miyazaki.med.or.jp

全国医師協同組合連合会/全国医師休診共済会  
団体所得補償保険のご案内

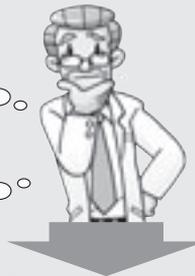
# 突然の病気やケガで先生が倒れてしまったら…?

万一休診せざるを得なくなってしまうたら、こんなことが心配ではないですか？



私を頼ってくれる大切な患者さんに迷惑をかけてしまう…

従業員にも負担をかけてしまう…



先生にお世話になっている皆さまにご負担やご迷惑をかけてしまいます。

家族に不安な思いをさせてしまう…

でも大丈夫!

## 団体所得補償保険では先生のご不安を解決します!!

「団体所得補償保険」は、万一先生が病気やケガで就業不能となった場合に備えた保険です。医療保険などでは補償されない医師の指示による自宅療養期間についても収入減を補償します。



こんな出費を補います!

●月々の生活費



●就業不能時の従業員給与



●クリニックのローンやリース料などの必要経費



●代診医雇入れ費用



|                                             |          |                  |             |         |
|---------------------------------------------|----------|------------------|-------------|---------|
| ■40歳 ■入院初期費用特約(5万円)/精神障害拡張補償特約/天災危険補償特約 セット | ■保険期間 1年 | ■対象期間 1年         | ■支払対象外期間 4日 | ■職種級別1級 |
| 保険金額月額                                      | 50万円     | 保険料月額 (団体割引 30%) | 8,815円      |         |

本制度の特長

### ◆病気やケガによる就業不能時の収入減を補償

- 病気やケガによる入院時はもちろん、医師の指示による自宅療養による就業不能時も補償します。
- 業務中・業務外、国内・国外の別を問いません。

### ◆手続きカンタン 健康状態に関する告知のみでご加入OK

※告知された内容によっては、ご加入いただけない場合や条件付きでのご加入となる場合があります。

### ◆法人でもご加入できます!

(税務処理一例) <個人でご加入の場合>介護医療保険料控除の対象となります。(所得税:最高4万円控除)  
<法人でご加入の場合>契約者=法人、被保険者=役員、保険金受取人=法人の場合過大な報酬でなければ損算入可能です。

※実際の税務処理は税理士にお問い合わせください。なお今後法改正により変更になる可能性があります。(平成26年6月現在)

### ◆団体割引30%適用

団体割引30%が適用され、個人でご加入されるよりお得です!

### ◆楽しい無事故戻し返れい

毎年の保険期間で、保険金のご請求がない場合は保険料の20%をお返しします。(中途脱退の場合、返れい金はありません。)

ご加入は随時受付しております。詳しい資料等の送付をご希望の場合は、取扱代理店までお問い合わせください。

このチラシは全国医師協同組合連合会および全国医師休診共済会の団体所得補償保険の概要を説明したものです。詳細については下記までお問い合わせください。

#### ●お問い合わせ先

【取扱代理店】  
宮崎県医師協同組合  
〒880-0023 宮崎県宮崎市和知川原1-101  
TEL 0985-23-9100 FAX 0985-23-9179  
(受付時間:平日午前9時から午後5時30分まで)

【引受保険会社】  
損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
宮崎支店 法人支社  
〒880-0805 宮崎県宮崎市橋通東5-3-10  
TEL 0985-27-8351 FAX 0985-26-6112  
(受付時間:平日の午前9時から午後5時まで)

損害保険ジャパン日本興亜株式会社は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

# 医療勤務環境 改善支援センターを ご存知ですか？

相談無料

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。



## 医療労務管理面

労働時間管理（働き方・休み方等）等

## 医業経営面

組織マネジメント・経営管理面 等



まずは、お電話ください。

## 宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内  
月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

# TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 1 月26日現在

| 2  |   | 月                                                                                                                                 |       |
|----|---|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1  | 月 | 19:00 都城・西諸地域医療構想データ検討会                                                                                                           |       |
| 2  | 火 | 10:00 県歯科保健推進協議会<br>14:00 県ナースセンター事業運営委員会<br>15:30 地域医療構想策定委員会<br>18:00 治験審査委員会<br>19:00 第27回常任理事協議会                              | 13 土  |
| 3  | 水 | 10:00 地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会<br>19:00 県糖尿病対策推進会議小幹事会<br>19:00 県肝炎対策懇話会                                                         | 14 日  |
| 4  | 木 | 18:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会<br>18:30 社会保険医療担当(医科)の更新時集団指導(TV会議)<br>19:00 産業医研修会                                                  | 15 月  |
| 5  | 金 | 14:30 宮大経営協議会等<br>19:00 産業医研修会                                                                                                    | 16 火  |
| 6  | 土 | 14:20 九医医療連事故調査制度担当理事連絡協議会<br>14:20 九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会<br>16:00 九医連常任委員会<br>16:00 九医連各種協議会<br>18:10 九医連各種協議会報告会                  | 17 水  |
| 7  | 日 | 8:45 小児等在宅医療地域コア人材養成講習会<br>13:00 日医医療秘書認定試験<br>13:15 県リスクマネージャー交流会                                                                | 18 木  |
| 8  | 月 | 19:00 延岡・日向・西臼杵地域医療構想データ検討会                                                                                                       | 19 金  |
| 9  | 火 | 14:30 県社会福祉審議会<br>19:00 第28回常任理事協議会                                                                                               | 20 土  |
| 10 | 水 | 14:00 県献血推進協議会<br>14:00 医療勤務環境改善支援センターアドバイザー研修会<br>16:00 支払基金幹事会<br>19:00 特定健康診査等従事者研修会(TV会議)                                     | 21 日  |
| 11 | 木 | (建国記念の日)<br>10:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会                                                                                              | 22 月  |
| 12 | 金 | 18:00 県母子保健運営協議会<br>19:00 県外科医会冬期講演会<br>19:00 宮崎・児湯・西都地域医療構想データ検討会                                                                | 23 火  |
|    |   |                                                                                                                                   | 24 水  |
|    |   |                                                                                                                                   | 25 木  |
|    |   |                                                                                                                                   | 26 金  |
|    |   |                                                                                                                                   | 27 土  |
|    |   |                                                                                                                                   | 28 日  |
|    |   |                                                                                                                                   | 29 月  |
|    |   | 11:00 九州ブロック初期・後期臨床研修進路説明会<br>12:00 (日医)日医医療情報システム協議会<br>15:30 九州地区医師国保組合連合会理事会<br>15:40 県内医師会病院連絡協議会<br>16:00 九州地区医師国保組合連合会全体協議会 |       |
|    |   | 9:30 (日医)日医医療情報システム協議会<br>15:00 県立病院事業評価委員会<br>19:00 在宅医療研修会企画小委員会<br>19:30 広報委員会                                                 |       |
|    |   | 18:15 県獣医師会との学術協力の推進に関する協定調印式<br>19:00 第29回常任理事協議会<br>19:00 南那珂地域医療構想データ検討会                                                       |       |
|    |   | 15:00 宮崎産業保健総合支援センター運営協議会<br>18:20 医協打合せ会                                                                                         |       |
|    |   | 19:00 産業医研修会<br>19:30 県産婦人科医会常任理事会                                                                                                |       |
|    |   | 15:00 (日医)日医医療秘書認定試験委員会<br>19:00 県内科医会理事会<br>19:00 県整形外科医会研修会                                                                     | ↑ 国   |
|    |   | 10:00 (日医)日医学校保健講習会<br>13:30 県民健康セミナー                                                                                             | ↑ 保 社 |
|    |   | 19:00 広報委員会<br>19:00 医療安全対策セミナー(TV会議)<br>19:00 医師国保組合理事会                                                                          | ↑ 審 保 |
|    |   | 18:15 医協理事会<br>19:00 第13回全理事協議会<br>終了後 医協理事・運営委員合同協議会                                                                             | ↑ 査 ↓ |
|    |   | 15:00 労災診療指導委員会<br>16:00 県がん診療連携協議会<br>19:00 日医認定産業医制度関係小委員会                                                                      | 査 ↓   |
|    |   | 19:00 創立127周年記念医学会                                                                                                                |       |
|    |   | 14:00 (日医)日医女性医師支援事業連絡協議会<br>九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>19:00 労災部会自賠責保険研修会                                                              |       |
|    |   | 13:00 (日医)日医母子保健講習会<br>15:00 母体保護法指定医師研修会<br>15:00 九州各県内科医会会長会<br>15:30 勤務医部会理事会<br>16:00 勤務医部会後期講演会                              |       |
|    |   | 14:00 国富町要保護児童対策地域協議会<br>19:00 代表者及び実務者会議<br>19:00 認知症サポート医連絡協議会                                                                  |       |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからご覧になれます。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成28年 1月26日現在

| 3  |   | 月                                                                                                 |      |                                                                |    |
|----|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------------------------------------------------------------|----|
| 1  | 火 | 18:00 治験審査委員会<br>19:00 第30回常任理事協議会                                                                | 13 日 | 8:30 緩和ケアチーム研修会                                                |    |
| 2  | 水 | 13:00 (日医)医療事故調査等支援団体向け研修会<br>19:00 県内科医会評議員会                                                     | 14 月 | 19:00 学校医部会・スポーツ医学セミナー・宮崎市郡学校医会合同学校検診についての研修会<br>19:30 広報委員会   |    |
| 3  | 木 | 9:00 (日医)医療事故調査等支援団体向け研修会                                                                         | 15 火 | 19:00 第31回常任理事協議会                                              |    |
| 4  | 金 | 15:00 (日医)日医公衆衛生委員会<br>16:00 全国国民健康保険組合協会九州支部総会                                                   | 16 水 |                                                                |    |
| 5  | 土 | 9:00 ICLS指導者養成ワークショップ<br>10:00 (日医)都道府県医師会社会保険担当理事連絡協議会                                           | 17 木 |                                                                |    |
|    |   | 14:00 地域リハビリテーション研修会<br>15:25 県産婦人科医会ひむかセミナー<br>15:30 病院部会・医療法人部会医療従事者研修会                         | 18 金 | 17:30 西諸医師会臨時総会<br>19:00 広報委員会                                 | ↑  |
|    |   | 17:00 九州医師協同組合連合会購買・保険部会<br>18:00 各都市内科医会長会<br>18:30 宮崎県ゆかりの福岡都市圏医師との交流会                          | 19 土 | 医師国保組合歩こう会関連行事<br>14:00 養護教諭のための性教育研修会<br>14:30 産業医研修会(実地)     | 国保 |
|    |   |                                                                                                   | 20 日 | (春分の日)<br>医師国保組合歩こう会                                           | 審  |
| 6  | 日 | 8:30 ACLS研修会<br>9:00 県産婦人科医会ひむかセミナー<br>10:00 レジナビフェア<br>10:30 (日医)都道府県医師会警察活動に協力する医師の部会連絡協議会・学術大会 | 21 月 | (振替休日)                                                         | 査  |
|    |   |                                                                                                   | 22 火 | 19:00 第32回常任理事協議会                                              | ↓  |
|    |   |                                                                                                   | 23 水 | 15:00 労災診療指導委員会                                                | ↑  |
| 7  | 月 | 19:00 介護保険に関する主治医研修会                                                                              | 24 木 |                                                                |    |
| 8  | 火 | 19:00 第2回理事会                                                                                      | 25 金 | 14:30 宮大経営協議会等<br>19:00 糖尿病診療のための地区別小講習会                       | 社  |
| 9  | 水 | 16:00 支払基金幹事会<br>19:00 産業医研修会                                                                     |      |                                                                |    |
| 10 | 木 | 19:00 医師国保組合通常組合会<br>19:30 県産婦人科医会全理事会                                                            | 26 土 | 14:00 医師クラーク育成・スキルアップ研修会<br>15:45 全医秘協常任委員会<br>16:15 全医秘協運営委員会 | 保  |
| 11 | 金 | 15:00 (日医)日医予防接種・感染症危機管理対策委員会                                                                     |      |                                                                |    |
| 12 | 土 | 11:00 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会<br>13:30 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・全体研修会<br>13:40 臨床検査精度管理調査に基づく勉強会      | 27 日 | (日医)九州ブロック日医代議員連絡会議<br>(日医)日医臨時代議員会<br>医師クラーク育成・スキルアップ研修会      | 査  |
|    |   | 14:30 産業医研修会(実地)<br>15:00 HTLV-1母子感染対策研修会<br>16:00 県内科医会総会・会員発表・学術講演会                             | 28 月 | 19:00 県外科医会全理事会                                                | ↓  |
|    |   | 16:00 九州各県医師会医療情報システム担当理事連絡協議会                                                                    | 29 火 | 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会<br>19:00 第33回常任理事協議会                   |    |
|    |   |                                                                                                   | 30 水 |                                                                |    |
|    |   |                                                                                                   | 31 木 |                                                                |    |

※都合により、変更になることがあります。  
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

います

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしてし

宮崎県医師会広報委員会

E - Mail : genko @ miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985 - 27 - 6550

TEL : 0985 - 22 - 5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望を  
しています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案な  
憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で  
紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場  
の旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、  
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

きりとりせ

お待ち  
ど、忌

匿名に  
合はそ

宮崎県医師会広報委員会 行 FAX : 0985-27-6550

ま  
り  
と  
り  
せ  
ん

お名前：

ご所属：

TEL：

FAX：

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会。（青・大腸・肺・乳）

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

| 名称・日時・場所                                                          | 演 題                                                                                                              | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                 | 単位<br>CC<br>がん検診                  |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| 南那珂医師会生涯<br>教育医学会<br>2月3日(水)<br>18:50~20:10<br>南那珂医師会館            | アルツハイマー型認知症治療におけるAChE-Iの使い分け<br>菜の花診療所理事長<br>北村 ゆり                                                               | ◇共催<br>※南那珂医師会<br>☎0987-23-3411<br>武田薬品工業(株)<br>ヤンセンファーマ(株)                                         | 単位<br>1<br>CC<br>29               |
| 第104回宮崎市郡医<br>師会病院心臓病研<br>究会<br>2月3日(水)<br>19:00~20:30<br>宮崎観光ホテル | 大血管合併症を焦点とした糖尿病診療マネジメント<br>熊本大学医学部附属病院<br>糖尿病・代謝・内分泌内科講師<br>松村 剛                                                 | ◇共催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>小野薬品工業(株)<br>アストラゼネカ(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119            | 単 位<br>1.5<br>CC<br>2<br>8<br>76  |
| 第3回ひむか感染<br>症研究会<br>2月3日(水)<br>19:00~20:40<br>ホテルベルフォー<br>ト日向     | 検疫所の業務について<br>福岡検疫所宮崎空港出張所検疫業務係長<br>石井 博文<br><br>冬の感染症対策<br>宮崎大学医学部内科学講座<br>免疫感染病態学分野教授<br>岡山 昭彦<br><br>参加費：500円 | ◇共催<br>ひむか感染症研究会<br>大日本住友製薬(株)<br>◇後援<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222<br>日向市東臼杵郡内科医会<br>日向市東臼杵郡薬剤師会 | 単位<br>1.5<br>CC<br>13<br>28<br>46 |

| 名称・日時・場所                                              | 演 題                                                                       | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                     | 単位<br>CC<br>がん検診                     |
|-------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>2月4日(木)<br>19:00~21:00<br>県医師会館   | 生涯専門(3)健康管理<br>企業における受動喫煙防止対策<br>宮崎県立看護大学・大学院教授<br>生涯研修の専門研修会：2単位         | 江藤 敏治<br>◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                              | 単位<br>2<br>CC<br>9<br>11<br>12<br>82 |
| 宮崎県内科医会<br>学術講演会<br>2月4日(木)<br>19:15~20:30<br>宮崎観光ホテル | 鼻副鼻腔疾患に対する新しい治療<br>—アレルギー性鼻炎・花粉症を中心に—<br>名古屋市立大学大学院医学研究科<br>耳鼻咽喉・頭頸部外科准教授 | 鈴木 元彦<br>◇共催<br>宮崎県内科医会<br>※サノファイ(株)<br>☎0120-852-297                                   | 単位<br>1<br>CC<br>19<br>39            |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>2月5日(金)<br>19:00~21:00<br>県医師会館   | 生涯専門(4)メンタルヘルス対策<br>メンタルヘルスと復職(Ⅱ)<br>西都病院精神科医師<br>生涯研修の専門研修会：2単位          | 植田 勇人<br>◇共催<br>※宮崎県医師会<br>0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                               | 単位<br>2<br>CC<br>5<br>6<br>69<br>70  |
| 延岡消化器病<br>研究会<br>2月5日(金)<br>19:00~20:30<br>延岡市医師会病院   | 肝臓移植手術の手技<br>聖マリア病院研究所長                                                   | 藤堂 省<br>◇共催<br>延岡消化器病研究会/西陵診断研究会<br>延岡医学会<br>※エーザイ(株)<br>☎0985-26-2676<br>◇後援<br>延岡内科医会 | 単位<br>1<br>CC<br>9<br>84             |

| 名称・日時・場所                                                                                                                                             | 演 題                                                                                                                                   | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                      | 単位<br>CC<br>がん検診                  |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|
| <b>第167回宮崎県眼科<br/>医会講習会</b><br>2月6日(土)<br>16:00~19:00<br>宮崎観光ホテル                                                                                     | <b>ユニバーサルデザインとカラーユニバーサルデザインを<br/>考える</b><br>(株)武者デザインプロジェクト 武者 廣平<br><b>3大細菌感染症の病態と対応ー結膜炎・角膜炎・眼内炎ー</b><br>ルミネはたの眼科 秦野 寛<br>参加費:3,000円 | ◇共催<br>※宮崎県眼科医会<br>☎0985-28-1015<br>千寿製薬(株)                              | 単位<br>2<br>CC<br>36               |
| <b>第24回宮崎市郡<br/>医師会病院循環器<br/>セミナー</b><br>2月8日(月)<br>18:50~20:20<br>宮崎市郡医師会<br>病院                                                                     | <b>冠動脈疾患の最近の話題</b><br>熊本大学大学院生命科学研究部<br>循環器内科学准教授 掃本 誠治                                                                               | ◇共催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>第一三共(株)<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119 | 単位<br>1.5<br>CC<br>2<br>8<br>9    |
| <b>平成27年度生活習<br/>慣病検診従事者研<br/>修事業</b><br><b>特定健康診査等従<br/>事者研修会</b><br>2月10日(水)<br>19:00~20:30<br>県医師会館<br>TV会場:都城・延<br>岡・日向・児湯・<br>西都・南那珂・西<br>諸・西臼杵 | <b>行動変容理論に基づいたメタボリック症候群への効果的<br/>な保健指導</b><br>宮崎県立看護大学・大学院教授 江藤 敏治                                                                    | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎県                                   | 単位<br>1.5<br>CC<br>11<br>12<br>82 |

| 名称・日時・場所                                                                             | 演 題                                                                                   | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                   | 単位<br>CC<br>がん検診                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 西諸医師会・西諸<br>整形外科医会・西<br>諸内科医会合同学<br>術講演会<br>2月12日(金)<br>18:45~20:45<br>ガーデンベルズ<br>小林 | 当院における整形外科医による足病変の治療について<br>ーフットケア・創傷治療・他診療科との集学的治療連携<br>を指してー<br>南風病院整形外科部長 富村 奈津子   | ◇共催<br>※西諸医師会<br>☎0984-23-2113<br>西諸整形外科医会<br>西諸内科医会<br>日本臓器製薬(株)     | 単位<br>2<br>CC<br>10<br>57<br>58<br>76 |
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>2月12日(金)<br>19:00~20:30<br>ホテルメリージュ<br>延岡                          | 病態理解に基づいた喘息治療・管理の新展開<br>京都大学医学部附属病院呼吸器内科講師<br>松本 久子                                   | ◇共催<br>延岡医学会<br>延岡内科医会<br>アステラス製薬(株)<br>※アストラゼネカ(株)<br>☎070-2283-9148 | 単位<br>1<br>CC<br>45<br>79             |
| ダーモスコピー<br>研究会<br>2月13日(土)<br>17:10~19:10<br>JA-AZMホール                               | ダーモスコピーの基礎と演習ー疥癬ほかー<br>東京女子医科大学東医療センター皮膚科教授<br>田中 勝                                   | ◇共催<br>宮崎県皮膚科医会<br>※マルホ(株)<br>☎096-382-2200                           | 単位<br>2<br>CC<br>9<br>11<br>13<br>26  |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>2月18日(木)<br>19:00~21:00<br>県医師会館                                 | 生涯専門(6)作業環境管理<br>作業環境関連疾患(腰痛・VDT障害)の予防と悪化防止<br>宮崎県立看護大学・大学院教授 江藤 敏治<br>生涯研修の専門研修会：2単位 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118                                       | 単位<br>2<br>CC<br>11<br>12<br>37<br>60 |

| 名称・日時・場所                                                         | 演 題                                                                                                                                                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                      | 単位<br>CC<br>がん検診                   |
|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 第100回江南医療<br>連携の会・症例検<br>討会<br>2月18日(木)<br>19:00~20:30<br>宮崎江南病院 | <b>骨軟骨損傷とその治療</b><br>宮崎江南病院整形外科医員 吉川 大輔<br><b>最近の肝・胆・膵 手術症例</b><br>宮崎江南病院外科医員 出先 亮介<br><b>てんかん発作後に急性腎不全を呈した一例</b><br><b>一腎性低尿酸血症とは一</b><br>宮崎江南病院内科医員 福永 慎 | ◇主催<br>江南医療連携の会<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎0985-52-4004                      | 単位<br>1.5<br>CC<br>35<br>53<br>57  |
| 都城市北諸県郡医<br>師会学術講演会<br>2月18日(木)<br>19:00~20:30<br>都城ロイヤル<br>ホテル  | <b>最近のパーキンソン病診療の進歩</b><br>藤元総合病院神経内科部長・<br>脳神経センター副センター長 大窪 隆一                                                                                             | ◇共催<br>都城市北諸県郡医師会内科医会<br>エフピー(株)<br>(連絡先)<br>都城市北諸県郡医師会<br>☎0986-22-0711 | 単位<br>1.5<br>CC<br>19<br>29<br>62  |
| 第13回宮崎GERD<br>研究会<br>2月19日(金)<br>18:50~21:00<br>MRT-micc         | <b>Barrett食道・表在癌の内視鏡診断と治療</b><br><b>一本邦の現状と海外の動向一</b><br>東京慈恵会医科大学内視鏡科講師 郷田 憲一                                                                             | ◇共催<br>宮崎 GERD 研究会<br>※アストラゼネカ(株)<br>☎092-283-8150<br>第一三共(株)            | 単位<br>2<br>CC<br>1<br>2<br>9<br>52 |

| 名称・日時・場所                                                                                         | 演 題                                                                                                | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                                             | 単位<br>CC<br>がん検診                         |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| <b>第3回地域医療介護講演会(研修会)</b><br><b>一在宅医療介護における多職種連携の組織体制づくり</b><br>2月19日(金)<br>19:00~20:00<br>ホテル中山荘 | <b>在宅医療と多職種連携</b><br>日南市立中部病院医師 桐ヶ谷 大淳<br><b>在宅医療・介護連携推進協議会組織体制づくり</b><br>日南市健康増進課地域医療対策室主査 甲斐 洋一朗 | ◇共催<br>※都城市北諸県医師会<br>☎0986-22-0711<br>宮崎県医師会<br>◇後援<br>都城市<br>三股町<br>宮崎県介護支援専門員協会<br>宮崎県介護ステーション連携協議会<br>県西ブロック | 単位<br>1<br>CC<br>14<br>80                |
| <b>第35回宮崎呼吸器乳癌懇話会</b><br>2月19日(金)<br>19:00~21:00<br>ニューウェルシティ<br>宮崎                              | <b>当院における小乳癌と肺癌に対する非切除凍結療法</b><br>亀田総合病院乳腺科主任部長 福間 英佑                                              | ◇共催<br>※宮崎呼吸器乳癌懇話会<br>☎0985-85-2291<br>協和発酵キリン(株)                                                               | 単位<br>2<br>CC<br>2<br>8<br>13<br>15<br>① |
| <b>第3回『宮崎脊椎外科を語る会』</b><br>2月19日(金)<br>19:15~20:30<br>宮崎観光ホテル                                     | <b>脊椎手術における低侵襲化について</b><br>大分整形外科病院院長 大田 秀樹                                                        | ◇共催<br>宮崎脊椎外科を語る会<br>※日本臓器製薬(株)<br>☎096-386-0441<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>宮崎県臨床整形外科医会<br>宮崎県整形外科医会                   | 単位<br>1<br>CC<br>60<br>61                |
| <b>第47回宮崎救急医学会</b><br>2月20日(土)<br>15:00~16:00<br>県医師会館                                           | <b>急性腹症の超音波診断</b><br>川崎医科大学附属病院検査診断学教授 畠 二郎<br>参加費:500円                                            | ◇主催<br>宮崎救急医学会<br>(連絡先)<br>南部病院<br>☎0985-54-5353                                                                | 単位<br>1<br>CC<br>53                      |

| 名称・日時・場所                                                        | 演 題                                                                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                         | 単位<br>CC<br>がん検診                          |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 宮崎市郡医師会<br>園医部会総会・講演会<br>2月20日(土)<br>16:00~17:30<br>宮崎市郡医師会館    | アレルギー, アトピー性皮膚炎 Q&A<br>むろい皮ふ科・アレルギー科院長 室井 栄治                               | ◇主催<br>※宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                            | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>1<br>11<br>12      |
| 第130回宮崎県腹部<br>超音波懇話会<br>2月20日(土)<br>17:00~18:30<br>南部病院         | 胃腸疾患の超音波診断(初級・中級者対象)<br>川崎医科大学附属病院検査診断学教授 畠 二郎<br>参加費:1,000円               | ◇主催<br>宮崎県腹部超音波懇話会<br>(連絡先)<br>西都見湯医療センター<br>☎0983-42-1113  | 単位<br>1.5<br><br>CC<br>2<br>53<br>胃<br>大腸 |
| 第10回宮崎血管治<br>療懇話会<br>2月26日(金)<br>18:45~21:00<br>宮崎観光ホテル         | 腹部大動脈瘤に対するEVAR後type2 endoleak:病態と<br>診断にもとづく治療戦略<br>大分大学医学部放射線医学講座講師 本郷 哲央 | ◇共催<br>※宮崎血管治療懇話会<br>大正富山医薬品(株)<br>☎090-5997-7223           | 単位<br>2<br><br>CC<br>10<br>62<br>63<br>76 |
| 第25回宮崎臨床<br>免疫研究会<br>2月26日(金)<br>18:50~20:30<br>ホテルJALシティ<br>宮崎 | 関節リウマチの病態とCD4T細胞<br>近藤リウマチ・整形外科クリニック副院長 山田 久方<br>参加費:1,000円                | ◇共催<br>宮崎県内科医会<br>宮崎臨床免疫研究会<br>※旭化成ファーマ(株)<br>☎0985-28-2736 | 単位<br>1<br><br>CC<br>19<br>61             |

| 名称・日時・場所                                                                     | 演 題                                                                          | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                               | 単位<br>CC<br>がん検診                |
|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| 第25回宮崎市郡<br>医師会病院循環器<br>セミナー<br>2月29日(月)<br>18:30~20:00<br>宮崎市郡医師会<br>病院     | ICUにおける抗菌薬の使い方<br>倉敷中央病院感染症科<br>上山 伸也                                        | ◇共催<br>宮崎市郡医師会病院心臓病研究会<br>MeijiSeika ファルマ㈱<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会病院<br>☎0985-24-9119 | 単位<br>1.5<br>2<br>8<br>9        |
| 日本東洋医学会九<br>州支部福岡県部会<br>宮崎中継<br>3月6日(日)<br>13:00~16:00<br>宮崎大学医学部<br>総合教育研究棟 | 女性の加齢に伴う症状と陰虚<br>金沢大学附属病院<br>耳鼻咽喉科・頭頸部外科和漢診療外来<br>参加費:3,000円<br>小川 恵子        | ◇共催<br>日本東洋医学会九州支部福岡県部会<br>日本東洋医学会九州支部宮崎部会<br>(連絡先)<br>宮崎大学産婦人科<br>☎0985-85-0988  | 単位<br>3<br>CC<br>15<br>18<br>83 |
| 宮崎市郡内科医会<br>学術講演会<br>3月8日(火)<br>19:00~20:00<br>宮崎観光ホテル                       | 在宅療養患者における骨粗鬆症治療<br>泉大津市立病院名誉院長<br>三木 隆巳                                     | ◇共催<br>宮崎市郡内科医会<br>中外製薬㈱<br>(連絡先)<br>宮崎市郡医師会<br>☎0985-53-3434                     | 単位<br>1<br>CC<br>77<br>80       |
| 平成27年度日向市<br>保健所結核研修会<br>3月8日(火)<br>19:00~20:30<br>日向保健所                     | 結核の早期診断と治療のポイント, 院内感染対策(IGRA)<br>について一重症化と感染拡大を防ぐために一<br>熊本南病院呼吸器科部長<br>山中 徹 | ◇共催<br>日向保健所<br>※日向市東臼杵郡医師会<br>☎0982-52-0222                                      | 単位<br>1<br>CC<br>13<br>46       |

| 名称・日時・場所                                                | 演 題                                                                                                               | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                               | 単位<br>CC<br>がん検診                     |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>3月9日(水)<br>19:00~21:00<br>県医師会館     | 生涯専門(3)健康管理<br>長時間労働者・高ストレス者に対する面接指導の実施<br>方法について<br>宮崎大学医学部名誉教授 鶴 紀子<br>生涯研修の専門研修会：2単位                           | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎産業保健総合支援センター                 | 単位<br>2<br>CC<br>5<br>11<br>12<br>70 |
| 第41回九州代謝・<br>栄養研究会<br>3月12日(土)<br>13:00~17:00<br>宮日会館   | 周術期の代謝栄養管理<br>筑波大学大学院人間総合科学研究科<br>疾患制御医学専攻消化器外科教授 寺島 秀夫<br>参加費：2,000円                                             | ◇共催<br>九州代謝栄養研究会<br>(株)大塚製薬工場<br>(連絡先)<br>宮崎江南病院<br>☎0985-52-4004 | 単位<br>1.5<br>CC<br>21<br>49<br>58    |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>3月12日(土)<br>14:30~16:30<br>宮崎市郡医師会館 | 実地(6)作業環境管理・作業管理<br>作業環境測定の事例紹介及び測定器具の使い方について<br>宮崎県環境科学協会技術部環境調査課次長<br>高橋 潤次<br>基礎研修の実地研修会：2単位<br>生涯研修の実地研修会：2単位 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>宮崎市郡医師会                        | 単位<br>2<br>CC<br>1<br>9<br>11<br>12  |
| 第1回宮崎真菌研<br>究会<br>3月12日(土)<br>18:15~19:15<br>宮崎観光ホテル    | 皮膚真菌症—基礎から臨床までの最近の話題—<br>楠原皮膚科医院長 楠原 正洋                                                                           | ◇共催<br>宮崎県皮膚科医会<br>※科研製薬(株)<br>☎0985-51-7504                      | 単位<br>1<br>CC<br>11<br>84            |

| 名称・日時・場所                                                           | 演 題                                                                                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                      | 単位<br>CC<br>がん検診                           |
|--------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 延岡医学会学術<br>講演会<br>3月18日(金)<br>19:00~20:50<br>ホテルメリージュ<br>延岡        | 最新の逆流性食道炎における治療(仮)<br>川崎医科大学・川崎医療福祉大学特任教授<br>春間 賢                                          | ◇共催<br>延岡医学会<br>※武田薬品工業(株)<br>☎080-5777-5410<br>大塚製薬(株)<br>◇後援<br>延岡内科医会 | 単位<br>1.5<br>CC<br>50<br>52<br>59          |
| 宮崎県医師会産業<br>医研修会<br>3月19日(土)<br>14:30~17:00<br>(株)日向製錬所            | (7)職場巡視と討論<br>職場巡視における作業環境の体験<br>浦上内科外科医院長<br>浦上 裕<br>基礎研修の实地研修会:2.5単位<br>生涯研修の实地研修会:2.5単位 | ◇共催<br>※宮崎県医師会<br>☎0985-22-5118<br>日向市東臼杵郡医師会                            | 単位<br>2.5<br>CC<br>1<br>8<br>9<br>11<br>12 |
| 佐土原医師会学術<br>講演会<br>3月23日(休)<br>19:00~20:10<br>シーガイアコンベン<br>ションセンター | 高齢者糖尿病治療の注意点<br>光川内科医院長<br>光川 知宏                                                           | ◇共催<br>佐土原医師会<br>※小野薬品工業(株)<br>☎080-8540-9993                            | 単位<br>1<br>CC<br>76<br>82                  |
| 第57回宮崎インター<br>ベンション研究会<br>3月25日(金)<br>19:00~20:30<br>KITEN         | 循環器薬剤温故知新一利尿薬, ACE阻害薬, β遮断薬な<br>ど古典的薬剤の使用についてー<br>慶応義塾大学循環器内科特任講師<br>香坂 俊                  | ◇共催<br>宮崎インターベンション研究会<br>※田辺三菱製薬(株)<br>☎0985-32-9205                     | 単位<br>1<br>CC<br>15<br>63                  |

| 名称・日時・場所                                              | 演 題                                                        | 主催・共催・後援<br>※ = 連絡先                                                                | 単位<br>CC<br>がん検診          |
|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 第54回宮崎県<br>スポーツ学会<br>3月26日(土)<br>15:00~19:00<br>県医師会館 | 外傷後関節症と再生医療<br>大阪保健医療大学スポーツ医科学研究所教授<br>中村 憲正<br>参加費：1,000円 | ◇共催<br>宮崎県スポーツ学会<br>久光製薬(株)<br>◇後援<br>宮崎県医師会<br>(連絡先)<br>宮崎大学整形外科<br>☎0985-85-0986 | 単位<br>1<br>CC<br>61<br>62 |

日本医師会生涯教育カリキュラム (2009)

カリキュラムコード(略称:CC)

|                     |                |                     |
|---------------------|----------------|---------------------|
| 1 専門職としての使命感        | 29 認知能の障害      | 57 外傷               |
| 2 継続的な学習と臨床能力の保持    | 30 頭痛          | 58 褥瘡               |
| 3 公平・公正な医療          | 31 めまい         | 59 背部痛              |
| 4 医療倫理              | 32 意識障害        | 60 腰痛               |
| 5 医師-患者関係とコミュニケーション | 33 失神          | 61 関節痛              |
| 6 心理社会的アプローチ        | 34 言語障害        | 62 歩行障害             |
| 7 医療制度と法律           | 35 けいれん発作      | 63 四肢のしびれ           |
| 8 医療の質と安全           | 36 視力障害、視野狭窄   | 64 肉眼的血尿            |
| 9 医療情報              | 37 目の充血        | 65 排尿障害(尿失禁・排尿困難)   |
| 10 チーム医療            | 38 聴覚障害        | 66 乏尿・尿閉            |
| 11 予防活動             | 39 鼻漏・鼻閉       | 67 多尿               |
| 12 保健活動             | 40 鼻出血         | 68 精神科領域の救急         |
| 13 地域医療             | 41 嘔声          | 69 不安               |
| 14 医療と福祉の連携         | 42 胸痛          | 70 気分の障害(うつ)        |
| 15 臨床問題解決のプロセス      | 43 動悸          | 71 流・早産および満期産       |
| 16 ショック             | 44 心肺停止        | 72 成長・発達の障害         |
| 17 急性中毒             | 45 呼吸困難        | 73 慢性疾患・複合疾患の管理     |
| 18 全身倦怠感            | 46 咳・痰         | 74 高血圧症             |
| 19 身体機能の低下          | 47 誤嚥          | 75 脂質異常症            |
| 20 不眠               | 48 誤飲          | 76 糖尿病              |
| 21 食欲不振             | 49 嚥下困難        | 77 骨粗鬆症             |
| 22 体重減少・るい瘦         | 50 吐血・下血       | 78 脳血管障害後遺症         |
| 23 体重増加・肥満          | 51 嘔気・嘔吐       | 79 気管支喘息            |
| 24 浮腫               | 52 胸やけ         | 80 在宅医療             |
| 25 リンパ節腫脹           | 53 腹痛          | 81 終末期のケア           |
| 26 発疹               | 54 便通異常(下痢・便秘) | 82 生活習慣             |
| 27 黄疸               | 55 肛門・会陰部痛     | 83 相補・代替医療(漢方医療を含む) |
| 28 発熱               | 56 熱傷          | 84 その他              |

## 診療メモ



## 腹腔鏡手術と3D

宮崎大学医学部発達泌尿生殖医学講座泌尿器科学分野 賀 本 敏 行

腹腔鏡手術が本邦に導入されてから、早くも四半世紀が経とうとしています(1992年に胆嚢摘除術が保険適応になっています)。泌尿器科領域では1996年に副腎摘除術が保険適応となり、それ以来、ほぼ全ての外科的手術が腹腔鏡で施行されるようになってきています。私は1997年に前任地の大学病院で臨床に復帰して以来、泌尿器科の腹腔鏡手術の発展とともに歩ませていただいたと言っても過言ではありません。このように適応範囲が年々広がる理由には、腹腔鏡手術そのものの安全性と有用性が認められてのことだと思われませんが、2003年には前立腺全摘術、副腎摘除術で、2013年にも腎臓摘出術での医療事故がありました。さらにそのような中で昨年来報道が続いています、関東の大学病院での死亡事故は、長年腹腔鏡手術にたずさわってきたものにとって衝撃的でありました。現在、詳細な事故調査が行われているとのことですので、日々の診療でさらに安全に留意しながらその結果を待ちたいと思います。

何はともあれ、このように腹腔鏡手術が拡大してきた背景には手術に対する術者の技術が安定かつ向上してきたこともありますが、やはり周辺機器の「進歩」があります。1つは、超音波凝固切開装置やバイポーラシーリングデバイス

などのエネルギーデバイスです。これらを用いることで確実に止血しながら手術をすすめることができるようになりました。出血が少なく術野が「きれい」ということはクオリティーの高い手術の重要な要素です。もう1つはなんと言っても腹腔鏡画像の「高画質化」です。家庭のテレビもそうですが、ハイビジョンからフルハイビジョン、現在では「4K」も導入されています。「4K」ともなりますと2次元ながら情報量が多く「擬似立体視」が容易に可能ということになっています。その一方で、かなり以前から腹腔鏡の「3次元化」についても開発が進められていました。当時の問題はやはり画質と、3次元用の「サングラス様のメガネ」の着用が必須であることで、「術野が暗くなっかえって見にくい」、「メガネが重くしんどい」などの課題がありました(3D映画で経験されたかたも多いかと思います)。しかしながら、光学系の高画質化(ハイビジョン)とともに、メガネの色の薄さ、軽量化などの改良が加えられ、2012年に3D腹腔鏡がようやく市場に導入されました。その後現在に至るまで複数のメーカーが開発し、導入施設が増えてきています。

3D腹腔鏡の何よりの利点は脳内で「立体視」できなくても、立体にししか見えないので術野の深さなどの判断が容易であるということにありま

す。ただ我々も使い始めた頃は、その画像はそれまでに見ていた2次元画像とは異なり、それなりに戸惑いましたので、ある程度の練習や慣れは必要だと思います。宮崎大学医学部附属病院では、全国に先がけて平成25年1月の2セット導入に始まり現在5セットでほぼ全ての腹腔手術が3次元で行われています。3次元腹腔鏡手術の利点を整理しますと、①深度を容易に認識できる3D映像で対象物の立体的な空間把握が可能になること、②教育的効果が高く、術者のラーニングカーブの短縮が期待されること、③おもわぬ合併症などが減ることで、より質の高い医療を提供できること、があります。米国では10年以上前に導入され、ここ数年本邦でも話題の“ロボット支援手術”の大きな特徴の一つも3D画像にあり、特に吻合操作では多関節鉗子とともに絶大なる威力を発揮するとされています。

しかしながら欠点もあります。一つは3Dの原理は2本のカメラが左右の目のように配置されて画像の“ずれ”を描出していますので、硬性鏡ですと回転させた時に画像そのものも回転してしまい、手術の続行が困難になります。また、3D映画でも言われていることですが、目の疲れや頭痛、吐き気などを起こす“3D酔い”する人

がいるということです。3D映画に関してはその原因や対策なども現在のところわかっていないようで、「3D映画をみない」ことしかないようですが、手術する外科医にとってはそうも言うてはいられないので今後解決すべき課題の一つと言えます。また機器そのものがこれまでの2次元の腹腔鏡機器に比較して高額であることも事実です。

数年前に池ノ上克病院長(当時)に外科系診療科を代表して3D腹腔鏡の導入をお願いに行った時に、外科系診療科の必須のインフラ設備であるのご理解いただき導入のご英断をいただきました。その時に先生から「そこまで言うなら今後の腹腔鏡は3Dが中心になりますか？また3Dで技術を習得されたDr.は他の病院に行かれたらどうしますか？」と質問されました。そこで私は「これから必ず主流(必須)になると思います。従って特に安全性から考えても他の病院にも3Dの購入をお願いすることになると思います」と即答しました。腹腔鏡手術導入から25年を迎えて、3次元腹腔鏡は今後各メーカーがさらなる高画質化、細径化などにしのぎを削って益々進化し、近い将来は腹腔鏡手術を行うどの病院にも当たり前のインフラ機器として整備されるものと確信しています。

## 宮大医学部学生のページ

## 宮崎の医療を考える会 地域包括ケアシステム —住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために—

宮崎大学医学部医学科5年 <sup>かみ</sup>上 <sup>じょう</sup>條 <sup>その</sup>苑 <sup>こ</sup>子

宮崎県医師会広報委員会には、宮崎大学医学部医学科の4年生と5年生から2名ずつ、計4名が学生広報委員として参加させていただいています。今回の学生のページではこの学生広報委員より、昨年12月10日に広報委員会にて開催いたしました「宮崎の医療を考える会」についてご報告いたします。

この「宮崎の医療を考える会」は、報道機関から若手記者の方々を中心にお招きして催している勉強会です。平成19年に初めて開催してから今回で6回目を迎え、これまでには、医師不足や、消費税増税と医療との関係、TPP参加が日本や宮崎の医療に及ぼす影響等を学んで参りました。今回は、新聞社やテレビ局より計11名の報道関係者の方々に参加していただき、「地域包括ケアシステム—住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるために—」をテーマに掲げ、まず広報委員会より地域包括ケアシステムの解説としてプレゼンテーションを行い、その後記者の方々にご質問をいただきながら意見を交わし合いました。以下に、当日の流れに沿って会の内容をご紹介します。

まず私達学生広報委員より、地域包括ケアシステムの背景について発表させていただきました。少子高齢化に伴う財源不足に対して、人口構成の変化に対応した効率的な医療体制が必要であること、高齢化とライフスタイルに地域差が存在するために地域ごとに取り組むべき課題



が異なること、看取りの場の不足と在宅医療の需要の大きさから在宅での医療を選択できる体制の整備が求められること、という大きく3つの観点から、これらに対処するために地域包括ケアシステムの構築が進められているのだと考察しました。

次に、地域包括ケアシステムの仕組みやそれが目指すものについて、広報委員の先生方よりご説明いただきました。地域包括ケアの目的や構成要素、地域ケア会議の活用から地域包括ケアシステムが実現されるまでの流れ等を解説していただきながら、「おおむね在宅、ときどき入院、ときどき施設」を目指した宮崎の地域独自のケアシステムが構築される必要があると強調されました。

これらを踏まえて、いよいよ宮崎県内の医療の現状と問題点に移りました。宮崎県を他都道府県と比較すると、病院や診療所をはじめとした医療機関の数や高齢者向け施設の整備は全国

平均以上ですが、そのほとんどが県央に集中しているため、高齢化率の高い中山間地域では医療・介護サービスを受けることが困難であるという地域差が浮き彫りとなりました。そこで、中山間地域(いわゆるへき地)においては地域包括ケアシステムがどのように動いているのかを、へき地勤務の経験をもつ先生が、その経験に加えて現役へき地勤務医師へのアンケートを基にして具体的に解説してくださいました。へき地では、老老介護や独居が多いことから、在宅での看取りは困難であり、施設の充実が望まれているようです。また、人材の不足や安全性といった側面から24時間365日の対応は難しいものの、職種や関わる人が限られるために医療・行政・福祉等の関係が濃厚で、医師が主導となってそれぞれの地域に応じた包括ケアシステムが構築されているといます。

最後に、宮崎県内で実際にあった事例から、地域包括ケアがスムーズに施行できた例と施行困難であった例がそれぞれ提示されました。まずスムーズに施行できた例は、独居で要介護1の80代の女性に対して地域ケア会議が開かれ、訪問看護や訪問介護、近所の住民の協力や地域からの支援を受けられることとなり、施設へ入所せずに自宅での生活を継続できることとなった例でした。それに対し施行困難であった例は、独居で若年性アルツハイマー型認知症を患い、一人で生活することが困難となった60代の男性の事例でした。地域ケア会議が開かれ、施設への入所やそのための引っ越し作業、金銭管理をはじめとして、多くの方々が試行錯誤を繰り返

しながらその人が生活していけるような支援体制を整えられたといます。ボランティアを含む人々の努力によって、個人の生活が補填され支えられているのだということが示されました。

広報委員からのプレゼンの後に記者の方々から多く聞かれた意見には、地域包括ケアシステムは難しい問題であるというものと、現場で働く一人ひとりの努力に委ねられている印象であり、現実的でないというものがありました。地域包括ケアシステムは責任の所在が明確でないために捉えづらく、そのせいもあってか現場の方々の善意やボランティア精神に依るところが大きくなってしまっている点は、今後の大きな課題であると思います。

勉強会に向けて、広報委員会にて牛谷義秀先生にご講義をいただいたり、講演会に参加したりして地域包括ケアシステムについて勉強して参りましたが、学生の私達にとって今回のテーマはとても難しいものでした。また当日、記者の方々のご意見を伺って、医学を学ぶだけでは医師は務まらず、病院で患者さんを待つことばかりが医療ではないということも改めて感じるようになりました。自分が働く地域の実情を把握して必要な医療のかたちを追求することや、それを実現するために積極的に多職種を結び付けたり円滑な連携を図ったりすることは、これから医師になる私達学生が身に付けなければならない力であると思います。今のうちから多方面にアンテナを張って、学び、考えていきたいと思える貴重な機会を経験させていただきました。

お知らせ

# 医師資格証を 持っていますか？



「医師資格証」とは、医師資格の電子証明書を格納したICカードです。

保健医療福祉分野のIT化を進めるためには、セキュリティを確保した基盤が求められています。

しかし、従来の医師免許証ではネットワーク上における医師資格を証明する事が出来ません。

日本医師会では、安全で安心して使えるIT基盤を実現するための、公開鍵基盤(PKI\*)の枠組みを使った「日本医師会認証局」を運営し、医師資格の証明を行う「医師資格証」を発行しています。

\*Public Key Infrastructureの略。



## 医師資格証ご利用シーン

### 資格証

提示することで  
医師であることを  
証明できる

### 出欠管理カード

講習・研修会の  
受付時間や終了時間を  
記録する場合

### 電子署名

コンピューター上で  
捺印の必要な文書を  
作成する場合

### 認証(通行証)

カルテや連携/バス等の  
医療情報を閲覧する場合

## 医師資格証—ご利用お申し込み

必要書類を都道府県医師会などの地域受付審査局へご提出ください。 ※医師資格証には年会費がかかります。

持参して  
いただく  
もの

- ..... ① 発行申請書(写真添付～撮影から6ヵ月以内)
- ..... ② 住民票の写し(発行から3ヵ月以内)
- ..... ③ 身分証(下記のいずれか1点)
  - (a) 日本国旅券(有効期限内のもの)
  - (b) 運転免許証(有効期限内のもの)、運転経歴証明書(平成24年4月1日以降発行のもの)
  - (c) 住民基本台帳カード(有効期限内のもの・写真付)
  - (d) 官公庁職員身分証明書(顔写取止措置済み・写真付)
- ..... ④ 医師免許証原本または医師免許証コピーに実印を押印し、印鑑登録証明書を添付(発行から3ヵ月以内)

詳細は電子認証センターホームページ「医師資格証の申請について」をご覧ください。

<http://www.jmaca.med.or.jp/>

## 日本医師・従業員国民年金基金のご案内

日本医師・従業員国民年金基金（設立母体・日本医師会）は、国民年金に加入されている医療従事者が国民年金に上乗せする「公的な年金」です。  
掛金の全額が社会保険料控除の対象となり、所得税、住民税が軽減され、さらに受取る年金にも公的年金等控除が適用されます。

|          |                                                                                                                                                                                            |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 加入資格     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 満20歳以上60歳未満の方。国民年金第1号被保険者</li> <li>● 医業に従事している医師や従業員（家族従業員も対象）</li> <li>● 地域型基金等の他の国民年金基金に加入していない方</li> </ul>                                     |
| 掛 金      | ● 掛金の払込は60歳まで。掛金（加入時年齢による）の上限は月額68,000円                                                                                                                                                    |
| 加入コース    | ● A型とB型。自由な組み合わせが可能                                                                                                                                                                        |
| 年金受取     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 65歳01月支給開始。終身年金</li> <li>● 年金額は加入口数とその掛金の納付期間等により決定</li> </ul>                                                                                    |
| 遺族一時金    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● A型（受給前）→ 加入時年齢、死亡時年齢および死亡時までの掛金納付期間に応じた額<br/>（受給後）→ 80歳までの残りの保証期間の年金原資に相当する額<br/>※遺族一時金の額は、払い込み掛金額を下回ることがあります。</li> <li>● B型 → 遺族一時金なし</li> </ul> |
| 中途脱退     | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 任意脱退はできない</li> <li>● 他の公的年金に加入・廃業等の場合、脱退となる</li> <li>● 中途脱退しても65歳より掛金に応じた年金を支給</li> </ul>                                                         |
| 税制上の優遇措置 | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 掛金は全額社会保険料控除の対象（最高816,000円が控除）</li> <li>● 受取る年金にも公的年金等控除が適用</li> <li>● 遺族一時金（B型を除く）は全額非課税</li> </ul>                                              |

長生きリスクに備える年金です

税理士のご紹介で  
ご加入されている方が  
増えております

新制度です

### 平成25年4月から60歳以上の方も加入可能となりました

60歳以上の国民年金の「任意加入者」で医業に従事している医師・従業員（家族従業員含む）の方が対象となります。掛金の払込は最長65歳まで。

**新商品の扱いとなります**ので、新たに「新規加入」の申し込みが必要となります。

（現在、基金に加入中の方であっても継続にはなりません）

- 日本医師会年金（医師年金）に加入している方でも、当基金の年金に加入できます。
- お手伝いをされているご家族や一般従業員の方も加入できます。

フリーダイヤル ☎0120-700650

受付時間（平日） 午前9:30～12:00 午後1:00～5:30

<http://www.jmpnpf.or.jp>



検索は  
こちらから

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会にお問い合わせください。また、MMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）までご連絡ください。

| 送付日           | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12月14日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護師等の離職時の届出制度について</li> <li>・第一種特定製品の管理者に係る義務等について(依頼)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 12月15日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「平成27年度在宅医療関連講師人材養成事業研修会」都道府県医師会へのご案内</li> <li>・医療用医薬品の流通改善について</li> <li>・データ提出の実績が認められた保険医療機関のデータ提出加算の取扱いについて</li> <li>・「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法の一部改正等に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について</li> <li>・「厚生労働大臣が指定する病院の病棟における療養に要する費用の額の算定方法第一項第五号の規定に基づき厚生労働大臣が別に定める患者について」の一部改正について</li> <li>・平成27年度宮崎県看護研究学会開催について(ご案内)</li> </ul> |
| 12月17日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> <li>・お薬手帳(電子版)の運用上の留意事項について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 12月18日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業場における労働者の健康保持増進のための指針の一部を改正する指針等について</li> <li>・雇用管理に関する個人情報のうち健康情報を取り扱うに当たっての留意事項の改正について</li> <li>・産業医の選任に関するアンケート調査について</li> <li>・アレルギー疾患対策基本法の施行について</li> <li>・戸籍届書の標準様式の一部改正について</li> <li>・世界的なポリオ根絶に向けた、不必要なポリオウイルスの廃棄について</li> <li>・B型肝炎ワクチンの互換性に関する資料について(送付)</li> <li>・県民公開フォーラム「宮崎県の病院前救急診療を考える」の開催について(ご案内)</li> </ul>    |
| 12月22日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員被扶養者証の無効について(通知)</li> <li>・財務省共済組合員証等の無効について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 12月24日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> <li>・国民健康保険被保険者証偽造使用に係る情報提供について</li> <li>・リゾチーム塩酸塩製剤の使用にあたっての留意事項について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                        |
| 12月28日        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本医師会特定個人情報等取扱マニュアル」策定について</li> <li>・ニボルマブ(遺伝子組換え)製剤の使用にあたっての留意事項について</li> <li>・医療事故情報収集等事業「医療安全情報No.109」の提供について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                     |
| 平成28年<br>1月4日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業場における労働者の健康保持増進のための指針の一部を改正する指針等について</li> <li>・雇用管理に関する個人情報のうち健康情報を取り扱うに当たっての留意事項の改正について</li> <li>・院内がん登録の実施に係る指針等について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                  |

| 送付日           | 文 書 名                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成28年<br>1月4日 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体が医学生等に貸与した修学等資金に係る債務免除益の非課税措置について(周知依頼)</li> <li>・世界的なポリオ根絶に向けた、不必要なポリオウイルスの廃棄について(周知及び協力依頼)</li> <li>・児童相談所長等の親権行使による同意に基づく予防接種の実施について</li> <li>・「サービス付き高齢者向け住宅における状況把握サービスの提供の徹底に向けた周知について」の送付について</li> <li>・「介護保険法施行令の一部を改正する政令の公布及び介護認定審査会の運営についての一部改正について」の送付について(依頼)</li> <li>・「介護事業者等において個人番号を利用する事務について(依頼)」の送付について</li> <li>・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整備に関する省令の公布について</li> <li>・総務省消防庁の熱中症による救急搬送人員数に関するデータの提供について</li> <li>・抗インフルエンザウイルス薬の安定供給等について(通知)</li> <li>・厚生労働科学研究事業「ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンに係る診療体制における協力医療機関等受診している方を対象とした調査研究」に対する協力依頼について</li> <li>・学校保健安全法に係る脊柱側彎症健診(モアレ検査)事業について(お知らせ)</li> </ul> |
| 1月5日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本准看護師連絡協議会設立及び賛助会員募集について</li> <li>・医療機関等におけるノロウイルスの院内感染予防対策の徹底について</li> <li>・「病原微生物検出情報」の送付について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 1月7日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> <li>・母子健康手帳の任意記載事項様式の改正について</li> <li>・東日本大震災に関連する診療報酬の特例取扱いの利用状況等の資料提出について</li> <li>・消費税の軽減税率制度の導入について(周知依頼)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 1月8日          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費税の軽減税率制度の導入について(周知依頼)</li> <li>・財務省共済組合員証等の無効について(通知)</li> <li>・医療事故情報収集等事業第43回報告書の公表について(通知)</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 1月12日         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもによる医薬品誤飲事故の防止対策について</li> <li>・化学薬品盗難事件に対する捜査協力依頼について</li> <li>・厚生労働省共済組合員証の無効について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 1月13日         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故調査制度に関する医療機関向け研修会の開催について</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 1月15日         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般財団法人医療関連サービス振興会「第25回シンポジウム」ご案内の送付について</li> <li>・西アフリカにおけるエボラ出血熱の終息を踏まえた対応について</li> <li>・精神科医療機関とハローワークの連携モデル事業の実施について</li> <li>・インフルエンザ疾患関連死亡者数迅速把握事業について</li> <li>・西アフリカにおけるエボラ出血熱の終息を踏まえた対応について</li> <li>・「みやぎきの食品産業マッチング会2016」への御来場について(御案内)</li> <li>・「小児慢性特定疾病指定医の指定について」の一部改正について</li> <li>・特定接種に関する接種実施医療機関について</li> <li>・新型インフルエンザ等対策特別措置法の規定に基づく特定接種(医療分野)の登録要領について</li> <li>・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                |



毎年、正月は寝正月と決めております。今年もこたつでテレビを見ていたところ、箱根駅伝に夢中になってしまいました。実は私も箱根を走ったことがあるのです。自転車ですが…。

10年ほど前、東京に住んでいたところに、東京から宮崎まで友人と自転車での2人旅に出ました。話の勢いで発作的に旅立ちましたので、とりあえず国道1号線

を走っていけば何とかなるだろうという無計画なものでした。道すがら、国道沿いのコンビニで「宮崎にはどちらに行けばよいですか」と尋ねては怪訝な顔をされたり、深夜にパトカーに止められては缶コーヒーをいただいたりと、大変な旅でしたが、最大の難所はやはり箱根でした。体力が持たず、長い坂道の大部分は自転車を押して歩きましたが、それでも最高点に達した時の達成感は相当なものだったように思います。

広報委員を務めるまでは、そもそも医師会がどういったものかも全くわからない状態で、最初の広報委員会には非常に緊張して参加した記憶があります。しかし2年間の任期の中で、編集作業を通して医師会の役割を知るとともに、若手記者との勉強会を通して、国民皆保険制度の意義、TPPと医療の関係、地域包括ケアシステムなど、医師として非常に重要でありながら、これまで考えたことがなかったテーマについて学ばせていただくことができました。学生広報委員の任期2年も、残すところあと1か月。東京-宮崎の旅は残念ながら静岡でリタイアしましたが、こちらの仕事は最後まで精いっぱい務めさせていただきたいと思っています。

(枝元)

\* \* \* \* \*

風呂上がりの缶ビールに幸せを感じるアラフォーの日々。お兄さんと呼ばれたいと全く思わなくなって気付いたのは、このポジションの意外な居心地の良さ。でも甘えてはいけません。高額だけどコミットしてくれるらしい某ジムのCMをみて感じるのは、見た目の印象は大事だということ。糖質制限、プチ断食等いろいろ流行があるようですが、極端なものは体と心に良くないので、朝・昼は普通に食べて夕食兼つまみをサラダにしています。

(岡本)

\* \* \*

「TPPが発効されると猪が住みつく」。淡路島にある地元の小学校が廃校の危機にあります。私が通っていたころも全校生徒は100名ほどでしたが、過疎化は深刻です。明石大橋ができ高速道路で本州とつながってからは、観光客は増えていますが、過疎化は止まりません。実家の周りも後継者がおらず、休耕地が目立つようになり、とうとう猪が出没するようになったそうです。TPPが発効されるとさらに悪化するのだろうか…。私曰く、「TPPが発効されると猪が住みつく」と。

(沖田)

\* \* \*

看護師の一人が65歳になり定年退職しました。新たな職員の募集をしているのですが全く反応がありません。民間の看護師斡旋会社に問い合わせたところ、年収の20%の手数料がかかるとのこと。看護師の年収が400万円とすると80万円の斡旋料を支払う必要があります。結局、定年退職した看護師にパートとして戻ってきていただくことになりました。看護師の確保にはいつも苦労します。

(佐々木)

\* \* \*

寒いところに行くので最初は子供が着るために買ったタートルネック、子供の用事も済んでもう着ないというので、予定通り僕がもらいました。「同じサイズの服を着るのか、大きくなったなー。さすが新品、肌触りも良くて、首回りもピタッとして気持ちいいね」と喜んでいたら、鏡を見てびっくり、首回りの肉がはみ出ているのです。ということで今年の目標もダイエットになりました。

(西田)

\* \* \*

先日、大学での座学がすべて終了し、もう学友とみんなで一緒に授業を受けることはないのだと思うと少し感慨にふけてしまいました。大学に入ってからこの4年間は本当にあっという間だったのですが、残りの2年はさらに慌ただしく一瞬で過ぎてしまうのだろうかと思うので、一日一日を大事に、有効に使っていきたいと考えています。とりあえずは春休みを有意義に過ごすためにも、目下の後期試験をあと少し、頑張り抜きたいと思います。

(佐井)

\* \* \*

また虐待で子供の命が失われた。3歳児が1時間半に渡って屈強な男から殴られたり蹴られて死亡した理由は、ガンを飛ばしたからという。別の事件では親が3歳女児への虐待の内容をLINEで話し合っていた。連日報道される耳を疑うような虐待死のニュースに胸が痛みます。虐待する親が幼少期には被虐待児だった例もあるようで、簡単には解決しない難しい問題なんだろうな。それでも、一人でも多くの子供の心と命が救われますように。

(大野)

\* \* \*

## 今月のトピックス

### 日州医談 「医療機関に退蔵されている水銀」の回収について

体温計の水銀は無機水銀なので、赤ちゃんが誤飲しても水俣病になることはない。そう教えられて安心していましたが、それを廃棄処分するとなると話は別。大変な手間と費用が掛かるようです。医療機関に眠っている体温計や血圧計の水銀は退蔵水銀と呼ばれるそうですが、2020年に水銀に関する水俣条約が発効するとその処理はますます難しくなるとのこと。対応が急がれます。

4 ページ

### 新春随想

1月号に引き続き新春随想を掲載します。今年も県内各地から様々な話題をお寄せいただきました。拝読していると、宮崎県のまた新しい風景が眼に浮かんでくるようで、新鮮な気持ちになります。

6 ページ

### 宮大医学部学生のページ

昨年12月に開催した「宮崎の医療を考える会」の様子を、学生の視点からまとめてもらいました。この会は、広報委員会が県内報道機関の若手記者を招いて開く勉強会です。今回のテーマは「地域包括ケアシステム」。難しい内容で苦労しましたが、結果には手応えがあったようです。

70ページ

日 州 医 事 第 798号 (平成 28年 2月号) (毎月 1回 10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行  
〒 880-0023 宮崎市和知川原 1丁目 10番地 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550  
<http://www.iyazakimed.or.jp/> E-mail:office@iyazakimed.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 上野 満・副委員長 釜付 弘志, 沖田 和久  
委 員 篠原 立大, 中村 豪, 上條 苑子, 押川 隆  
大野 妙子, 西田 隆昭, 岡本健太郎, 枝元 真人, 佐井 佳世  
担当副会長 富田 雄二・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究  
事 務 局 学術広報課 瀬戸山千春, 牧野 諭

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。  
定 価 350円 (但し、県医師会員の講読料は会費に含めて徴収してあります)